

# 交通安全のために

～令和2年中の交通事故から～



埼玉県内の交通事故死者は、令和2年は121人(前年比-8人)で、昨年より減少しました。  
また、人身事故は、平成17年をピークに減少傾向で推移し、令和2年は17,115件  
(前年比-4,244件)で昭和42年以降最少の件数となりました。



歩行者優先「KEEP38」プロジェクト  
シンボルマーク



サイン(SIGN)ちゃん  
道路を安全に横断するために  
イメージキャラクター



埼玉県警察本部交通部交通総務課

# ～ 目次 ～

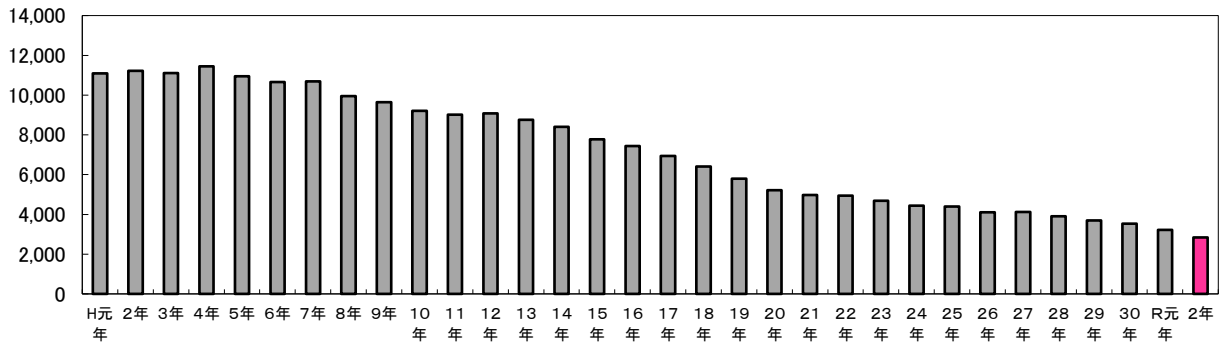


1	全国の交通事故	1
2	都道府県別の交通事故死者数	2
3	首都圏における交通事故発生状況	3
4	埼玉県内の交通事故	
○	高齢者・自転車・交差点の死亡事故	4
○	交通事故の年別推移	5
○	人口・免許人口・自動車保有台数の年別推移	5
○	交通事故の年齢層別・状態別発生状況	6
○	市町村別の交通事故発生状況	7
○	交通事故の月別発生状況	8
○	交通事故の時間帯別発生状況	9
○	交通事故の道路別発生状況	10
○	交通事故の道路形状別・道路線形別発生状況	11
○	交通事故の事故類型別発生状況	12
○	四輪車・二輪車による交通事故発生状況	13
○	高齢運転者による交通事故発生状況	14
○	歩行者の交通事故	15
○	自転車の交通事故	16
○	二輪車の交通事故	17
○	子供(中学生以下)の交通事故	18
○	高校生の交通事故	19
○	若者(16歳～24歳)の交通事故	20
○	高齢者(65歳以上)の交通事故	21
○	飲酒運転による交通事故(自転車を除く)	23
○	速度超過による交通事故	24
○	貨物自動車による交通事故	24
○	携帯電話・カーナビゲーション装置使用中における交通事故	25
○	シートベルト・チャイルドシートの着用状況	26
○	令和3年交通安全年間スローガン	27



# 1 全国の交通事故

## ● 交通事故死者数の年別推移



年別	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R元年	2年
死者数	6,937	6,415	5,796	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	2,839

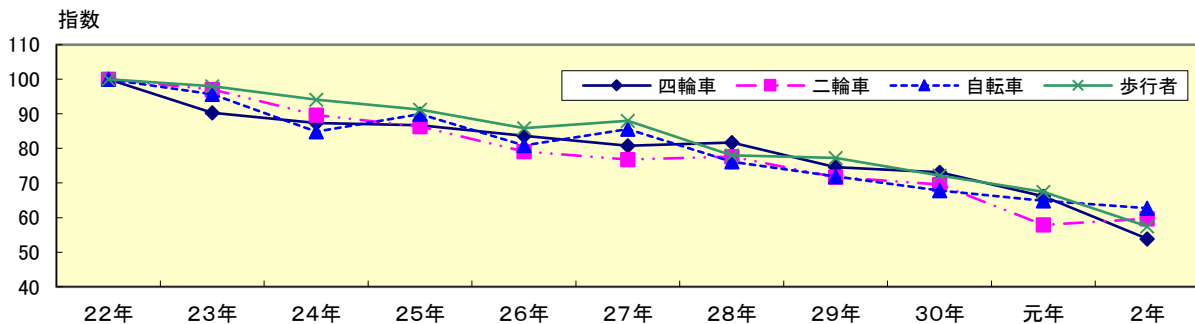
● 令和2年中の全国の交通事故死者数は  
**2,839人** 前年対比 **-376人** **-11.7%**  
 で、昭和23年以降の統計で最少となりました。

## ● 年齢層別・状態別死者数

	四輪車	自二車	原付車	自転車	歩行者	その他	合計
15歳以下	6	1	0	9	23	0	39
16～24歳	89	102	17	18	24	0	250
25～29歳	22	29	5	6	16	0	78
30代	61	49	9	14	39	1	173
40代	92	60	16	18	45	0	231
50代	103	89	25	32	68	0	317
60～64歳	52	19	12	28	44	0	155
65歳以上	457	36	57	294	<b>743</b>	9	1,596
合計	882	385	141	419	1,002	10	2,839

● 令和2年中の交通事故死者数をみると、65歳以上の歩行者が最多です。

## ● 状態別死者数の年別推移



● 状態別死者数を、平成22年を100とした指数の推移で見ると、いずれも減少傾向となっています。

## 2 都道府県別の交通事故死者数

### ● 交通事故死者数全国順位

順位	区分		2年	元年	増減数	増減率
	県名	2年				
1	東京	155	133	22	16.5%	
2	愛知	154	156	-2	-1.3%	
3	北海道	144	152	-8	-5.3%	
4	神奈川	140	132	8	6.1%	
5	千葉	128	172	-44	-25.6%	
6	大阪	124	130	-6	-4.6%	
7	埼玉	121	129	-8	-6.2%	
8	兵庫	110	138	-28	-20.3%	
9	静岡	108	101	7	6.9%	
10	福岡	91	98	-7	-7.1%	
	全国	2,839	3,215	-376	-11.7%	

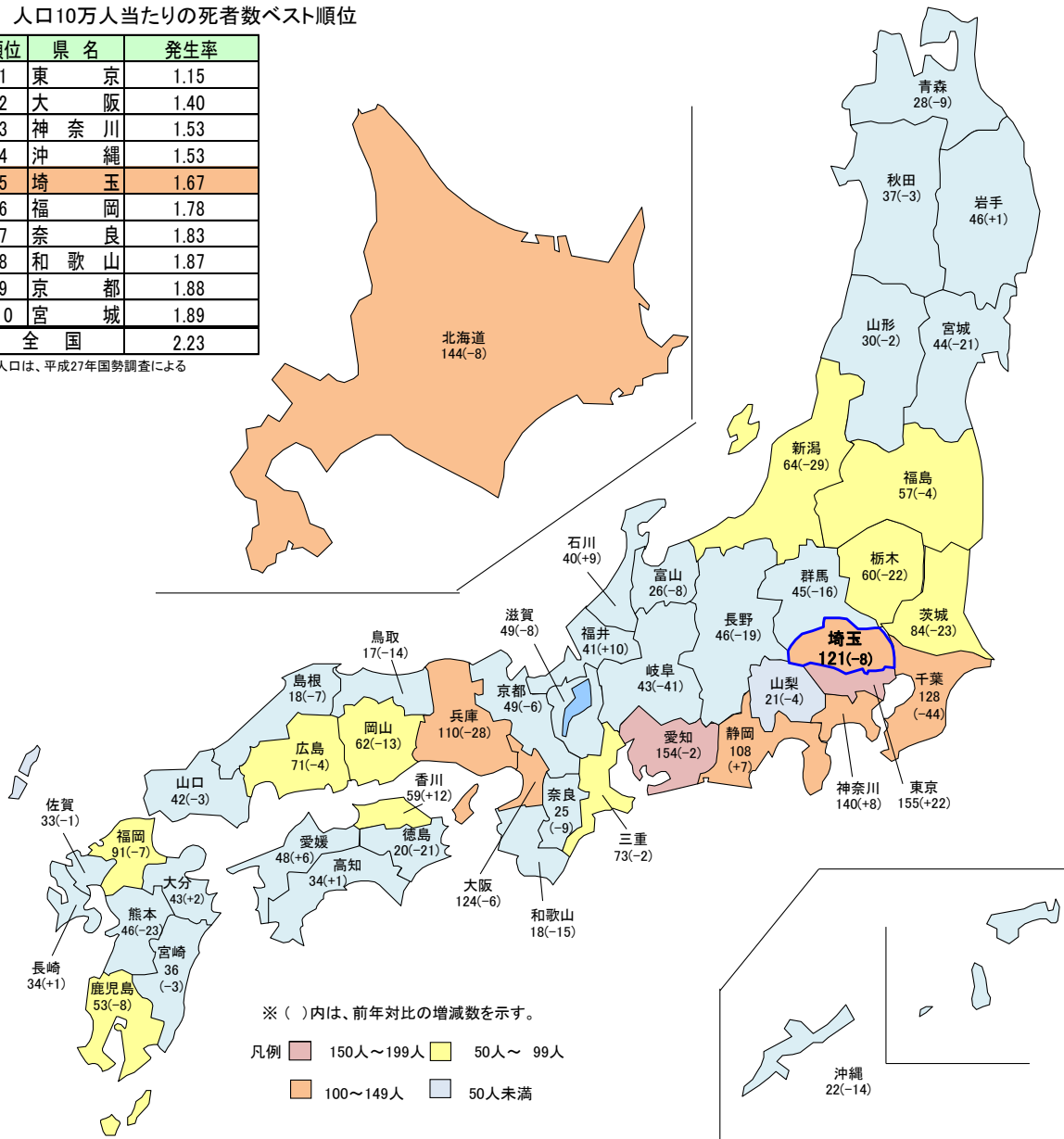
### ● 死者数の増減状況

	増減数	都道府県
前年に比べ死者数が増加した都道府県	21人以上増加	1
	11~20人増加	1
	1~10人増加	9
前年と同数の都道府県		0
前年に比べ死者数が減少した都道府県	1~10人減少	21
	11~20人減少	6
	21人以上減少	9
計		47

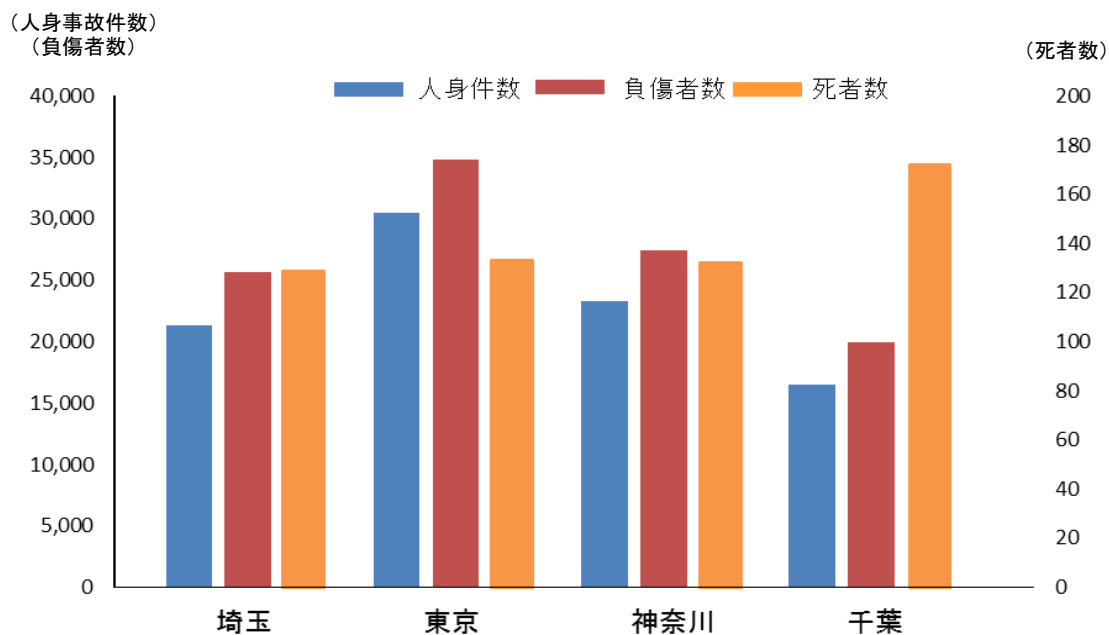
### ● 人口10万人当たりの死者数ベスト順位

順位	県名	発生率
1	東京	1.15
2	大阪	1.40
3	神奈川	1.53
4	沖縄	1.53
5	埼玉	1.67
6	福岡	1.78
7	奈良	1.83
8	和歌山	1.87
9	京都	1.88
10	宮城	1.89
	全国	2.23

※人口は、平成27年国勢調査による



### 3 首都圏における交通事故発生状況



都県名		埼玉	東京	神奈川	千葉	全国
人身件数	2年	17,115	25,642	20,630	12,873	309,178
	増減数	-4,244	-4,825	-2,664	-3,603	-72,059
	増減率	-19.9%	-15.8%	-11.4%	-21.9%	-18.9%
死者数	2年	121	155	140	128	2,839
	増減数	-8	22	8	-44	-376
	増減率	-6.2%	16.5%	6.1%	-25.6%	-11.7%
負傷者数	2年	20,443	28,888	23,904	15,415	369,476
	増減数	-5,261	-5,889	-3,488	-4,489	-92,299
	増減率	-20.5%	-16.9%	-12.7%	-22.6%	-20.0%

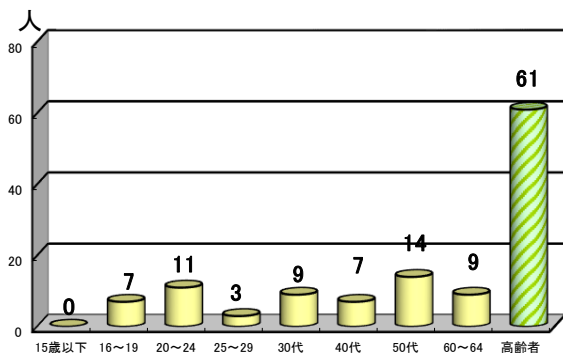
● 交通事故の1日平均

	埼玉	東京	神奈川	千葉	全国
人身事故	47	70	56	35	845
死者数	0.3	0.4	0.4	0.3	7.8
負傷者数	56	79	65	42	1,009

## 4 埼玉県内の交通事故

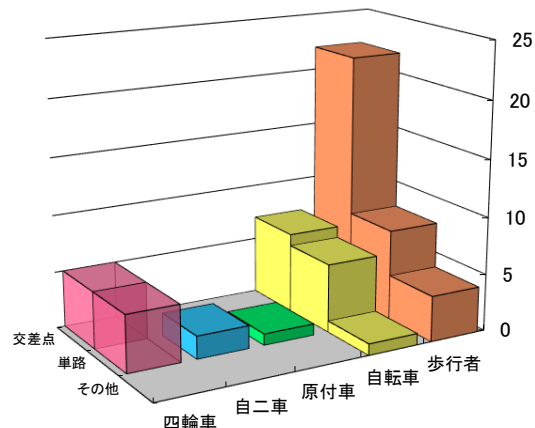
### 高齢者・自転車・交差点の死亡事故

#### ● 65歳以上の高齢死者は61人

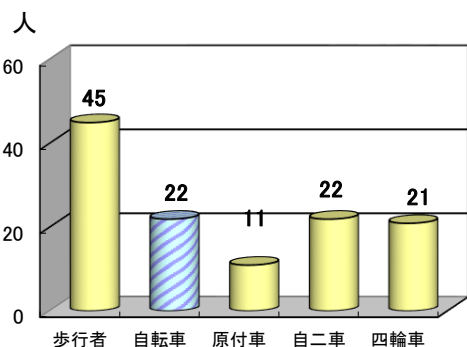


● 高齢死者のうち、状態別では歩行者が最も多く、特に交差点が突出しています。

#### ■ 高齢者の道路形状別・状態別死者数

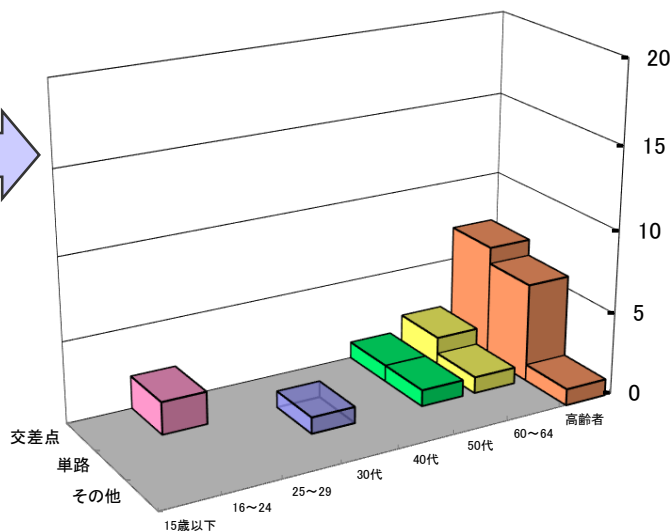


#### ● 自転車乗用中の死者は22人

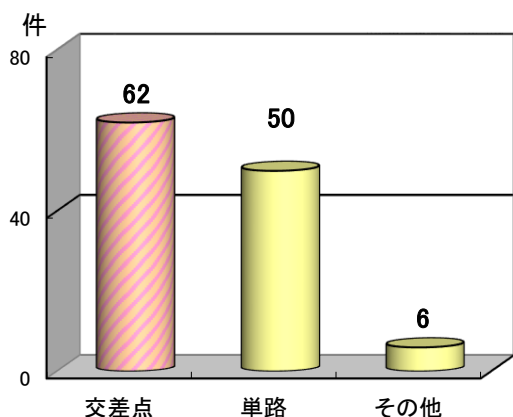


● 自転車乗用中の死者は、年齢層別では高齢者が最も多くなっています。

#### ■ 自転車乗用中の年齢層別・道路形状別死者数

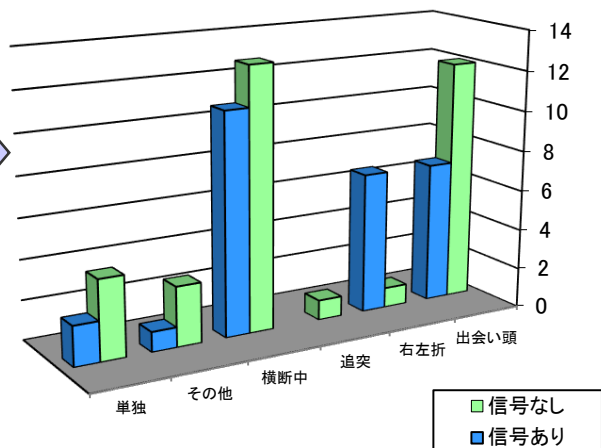


#### ● 交差点(交差点付近を含む。)での死亡事故は62件

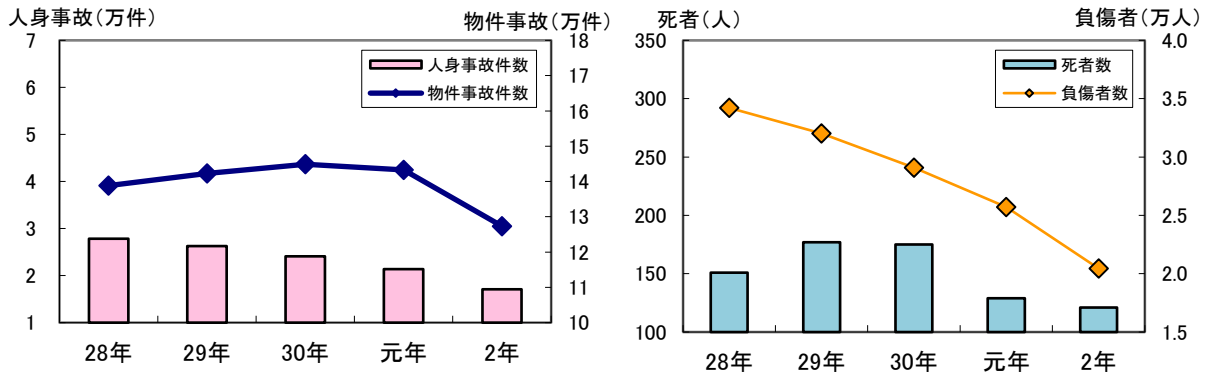


● 道路形状別では、交差点での事故が最も多く、特に信号機のない交差点での横断中の事故や出会い頭の事故が多く発生しています。

#### ■ 交差点の信号機有無別・事故類型別死亡事故数



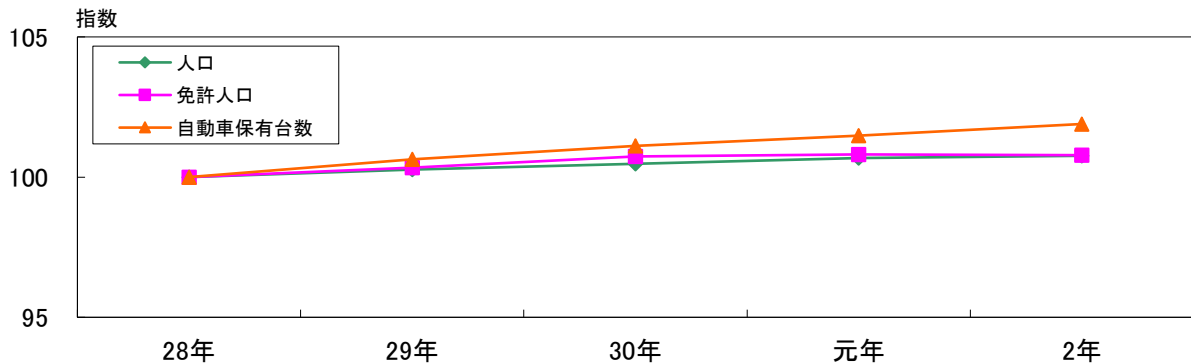
## 交通事故の年別推移



区分	年別	28年	29年	30年	元年	2年
人身事故件数		27,816	26,276	24,123	21,359	17,115
死者数		151	177	175	129	121
30日死者		38	38	37	40	31
30日以内死者		189	215	212	169	152
負傷者数		34,212	32,022	29,094	25,704	20,443
物件事数		138,869	142,300	144,880	143,297	127,342

- 令和2年中の死者数は121人(-8人)と前年に比べ減少しました。
- 人身事故件数、負傷者数、物件事数はいずれも減少傾向で推移しています。

## 人口・免許人口・自動車保有台数の年別推移



区分	年別	28年	29年	30年	元年	2年
人口		7,288,081	7,307,579	7,322,645	7,337,330	7,343,453
	指数	100	100	100	101	101
免許人口		4,671,395	4,687,184	4,706,025	4,709,168	4,707,999
	指数	100	100	101	101	101
自動車保有台数		4,097,485	4,123,507	4,143,058	4,157,858	4,175,097
	指数	100	101	101	101	102

- 人口、自動車保有台数は、いずれもゆるやかな増加傾向にあります。

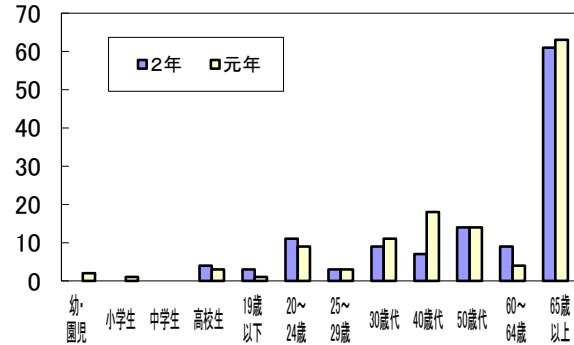
- (注) 1 人口は、各年10月1日現在、県統計課資料による。  
 2 免許人口は、各年12月末現在。  
 3 自動車保有台数は、各年12月末現在。  
 4 自動車保有台数は、関東運輸局埼玉陸運支局資料(軽二輪以上)による



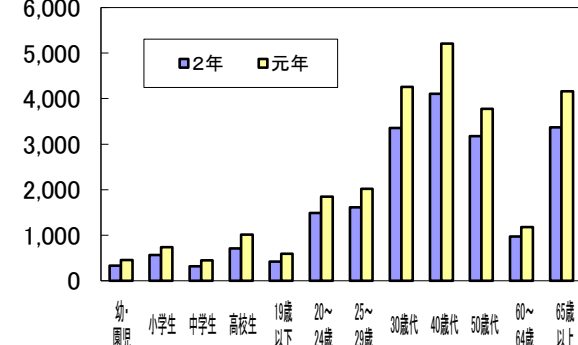
# 交通事故の年齢層別・状態別発生状況

## ● 年齢層別死傷者数

死者数



負傷者数

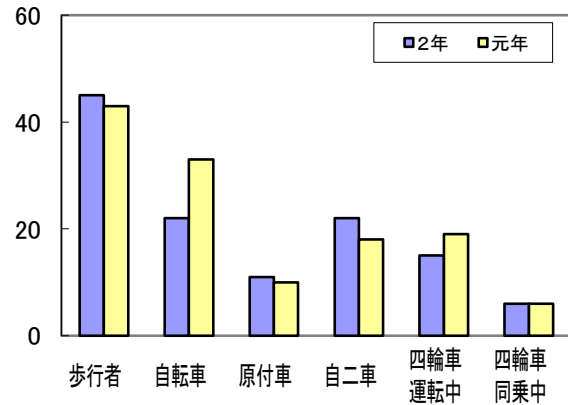


年別	年齢層別	子供			若者		25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65歳以上	計	
		幼・園児	小学生	中学生	高校生	19歳以下								20~24歳
死者	2年				4	3	11	3	9	7	14	9	61	121
	元年	2	1		3	1	9	3	11	18	14	4	63	129
	増減数	-2	-1	0	1	2	2	0	-2	-11	0	5	-2	-8
負傷者	2年	333	569	319	711	423	1,492	1,613	3,358	4,109	3,177	972	3,367	20,443
	元年	456	737	449	1,012	595	1,847	2,022	4,259	5,209	3,779	1,179	4,160	25,704
	増減数	-123	-168	-130	-301	-172	-355	-409	-901	-1,100	-602	-207	-793	-5,261

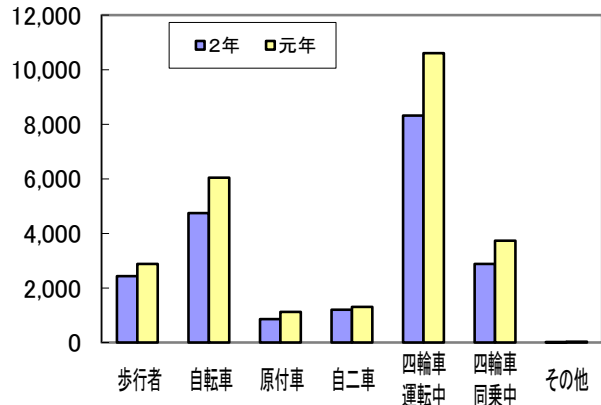
- 死者は65歳以上の高齢者が61人で最も多く、次いで50歳代となっています。
- 負傷者は40歳代が4,109人で最も多く、次いで65歳以上となっています。

## ● 状態別死傷者数

死者数



負傷者数



年別	年齢層別	歩行者	自転車	二輪車		四輪車		その他	計
				原付車	自二車	運転	同乗		
死者	2年	45	22	11	22	15	6		121
	元年	43	33	10	18	19	6		129
	増減数	2	-11	1	4	-4	0	0	-8
負傷者	2年	2,434	4,743	859	1,198	8,318	2,877	14	20,443
	元年	2,875	6,046	1,118	1,301	10,611	3,726	27	25,704
	増減数	-441	-1,303	-259	-103	-2,293	-849	-13	-5,261

- 死者は歩行者が45人で最も多く、次いで自転車・自二車となっています。
- 負傷者は四輪車運転中が8,318人で最も多く、次いで自転車となっています。



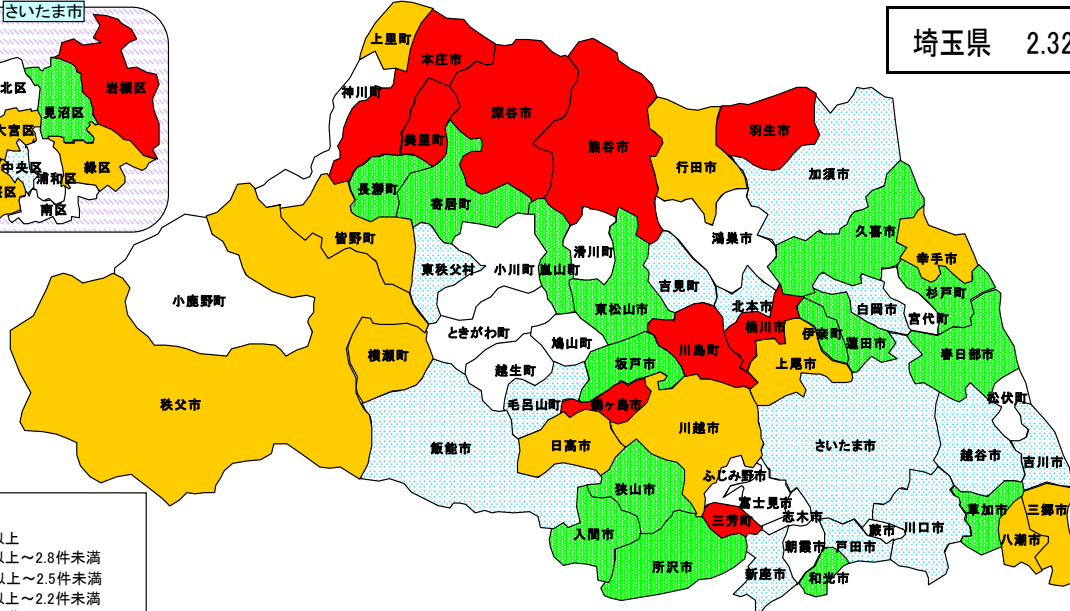
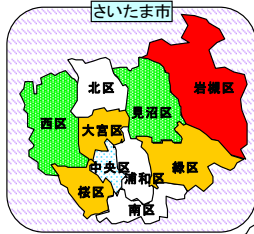
# 市町村別の交通事故発生状況



## 市町村別交通事故発生率

人口1,000人当たりの人身交通事故発生件数（令和2年12月末・確定）

埼玉県 2.32 件



凡例

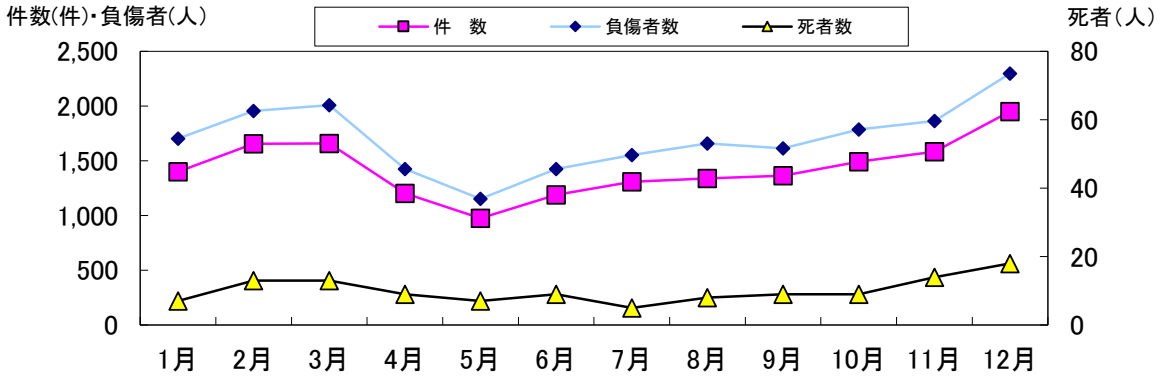
- : 2.8件以上
- : 2.5件以上～2.8件未満
- : 2.2件以上～2.5件未満
- : 1.9件以上～2.2件未満
- : 1.9件未満

順位	市町村名	発生率	件数	順位	市町村名	発生率	件数	順位	市町村名	発生率	件数	順位	市町村名	発生率	件数
1	本庄市	3.58	280	21	日高市	2.59	144	41	草加市	2.21	552	61	神川町	1.70	23
2	美里町	3.39	38	22	さいたま市大宮区	2.58	305	42	東秩父村	2.18	6	62	富士見市	1.70	190
3	川島町	3.21	64	23	行田市	2.55	206	43	越谷市	2.15	742	63	鳩山町	1.68	23
4	深谷市	3.19	457	24	さいたま市桜	2.52	242	44	加須市	2.12	240	64	松伏町	1.65	48
5	さいたま市岩槻	3.02	338	25	和光市	2.49	209	45	白岡市	2.12	111	65	小川町	1.62	48
6	鶴ヶ島市	2.96	207	26	東松山市	2.48	224	46	さいたま市中央区	2.10	214	66	小鹿野町	1.57	18
7	羽生市	2.95	161	27	杉戸町	2.41	108	47	毛呂山町	2.09	70	67	さいたま市南区	1.54	294
8	三芳町	2.85	109	28	狭山市	2.41	363	48	吉川市	2.08	152	68	ときがわ町	1.54	17
9	桶川市	2.84	214	29	さいたま市西区	2.38	219	49	吉見町	2.06	39	69	さいたま市浦和区	1.46	240
10	熊谷市	2.83	557	30	寄居町	2.37	79	50	新座市	2.01	333	70	蕨市	1.43	108
11	上尾市	2.78	637	31	さいたま市見沼区	2.36	385	51	北本市	1.99	132	71	ふじみ野市	1.43	163
12	川越市	2.77	978	32	坂戸市	2.35	237	52	飯能市	1.99	158	72	越生町	0.95	11
13	秩父市	2.76	171	33	久喜市	2.31	353	53	川口市	1.98	1,202				
14	さいたま市緑	2.70	343	34	長瀨町	2.28	16	54	戸田市	1.96	276				
15	皆野町	2.69	26	35	伊奈町	2.28	102	55	宮代町	1.85	63				
16	横瀬町	2.68	22	36	蓮田市	2.24	138	56	滑川町	1.81	35				
17	上里町	2.68	83	37	所沢市	2.24	770	57	志木市	1.79	137				
18	三郷市	2.66	379	38	嵐山町	2.24	40	58	さいたま市北区	1.77	262				
19	幸手市	2.63	134	39	入間市	2.23	329	59	朝霞市	1.75	248				
20	八潮市	2.59	239	40	春日部市	2.23	521	60	鴻巣市	1.71	203				

注1: 高速道路の事故は除く。  
 注2: 人口は、埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告の数値である。(令和2年1月1日現在)

# 交通事故の月別発生状況

## ● 月別発生推移

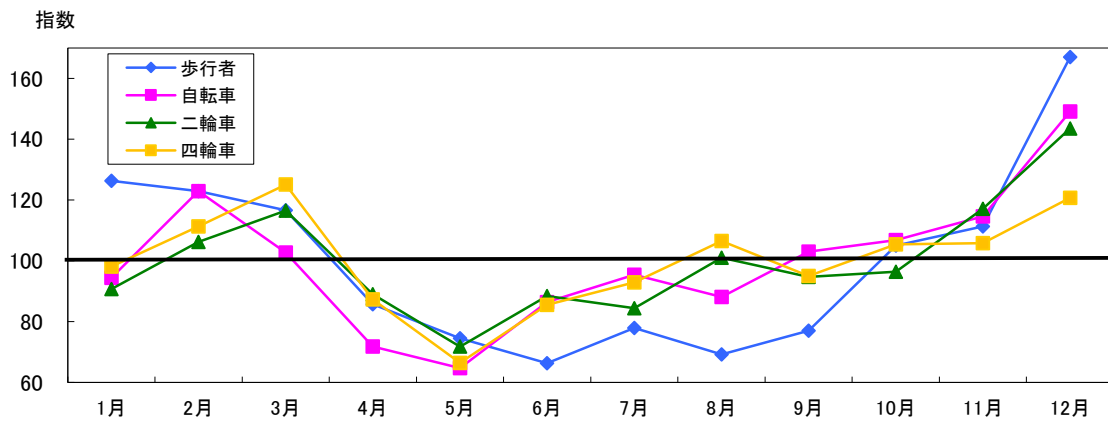


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	1,399	1,656	1,657	1,203	975	1,188	1,308	1,339	1,365	1,491	1,583	1,951	17,115
死者数	7	13	13	9	7	9	5	8	9	9	14	18	121
負傷者数	1,704	1,956	2,009	1,424	1,152	1,424	1,552	1,658	1,614	1,787	1,865	2,298	20,443

- 死者数は12月(18人)が最も多く、7月(5人)が最も少ない月でした。
- 交通事故発生件数は年末に向けて増加する傾向があります。

## ● 状態別死傷者の月別推移

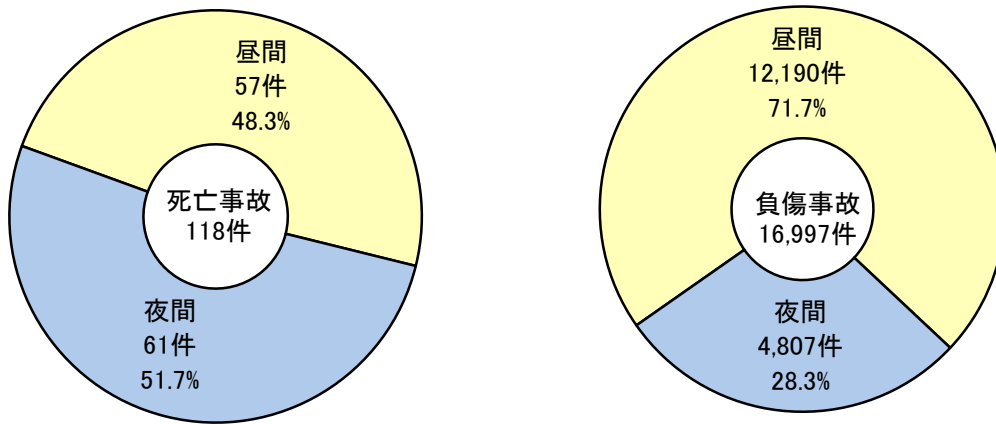
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	平均
歩行者	261	254	241	177	154	137	161	143	159	217	230	345	2,479	207
指数	126	123	117	86	75	66	78	69	77	105	111	167	---	100
自転車	375	488	408	285	257	343	379	350	409	424	455	592	4,765	397
指数	94	123	103	72	65	86	95	88	103	107	115	149	---	100
二輪車	158	185	203	155	125	154	147	176	165	168	204	250	2,090	174
指数	91	106	117	89	72	88	84	101	95	96	117	144	---	100
四輪車	917	1,040	1,169	816	621	799	868	996	888	985	989	1,128	11,216	935
指数	98	111	125	87	66	85	93	107	95	105	106	121	---	100
その他	0	2	1	0	2	0	2	1	2	2	1	1	14	1
計	1,711	1,969	2,022	1,433	1,159	1,433	1,557	1,666	1,623	1,796	1,879	2,316	20,564	1,714



- 上の表はそれぞれの状態別月平均死傷者数を100として1年間の月別の発生状況を表したものです。
- 歩行中の死傷者数は、春先から夏場にかけて減少し、その後年末にかけて大幅に増加しています。

# 交通事故の時間帯別発生状況

## ● 昼夜別発生件数

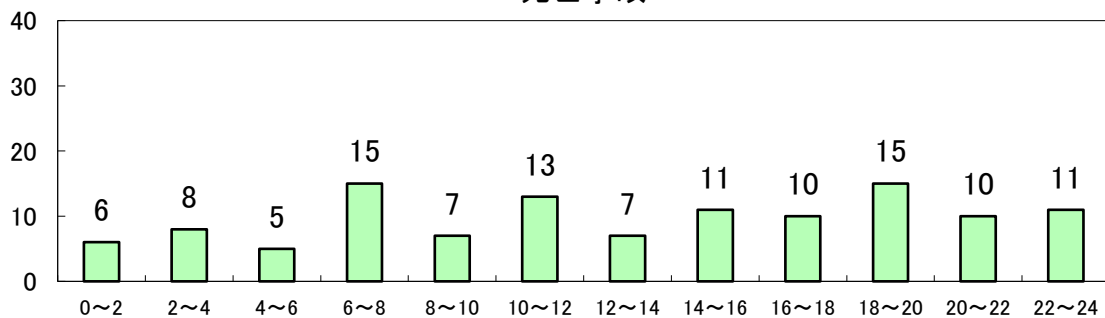


● 死亡事故は夜間、負傷事故は昼間に多く発生しています。

## ● 時間別発生件数

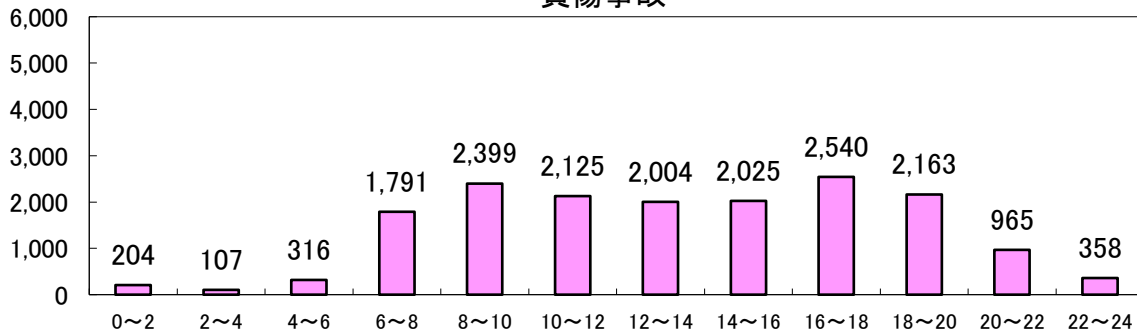
	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死亡事故	6	8	5	15	7	13	7	11	10	15	10	11	118
負傷事故	204	107	316	1,791	2,399	2,125	2,004	2,025	2,540	2,163	965	358	16,997

死亡事故



● 死亡事故は6時～8時、18～20時の時間帯に多く発生しています。

負傷事故

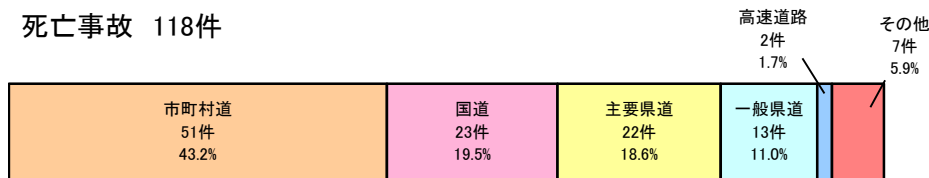


● 負傷事故は、16時～18時の通勤・通学時間帯が多くなっています。

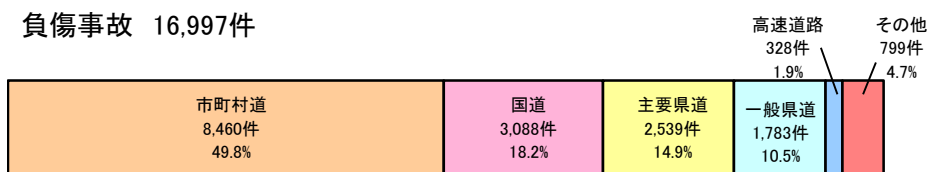
# 交通事故の道路別発生状況

## ● 道路別発生件数

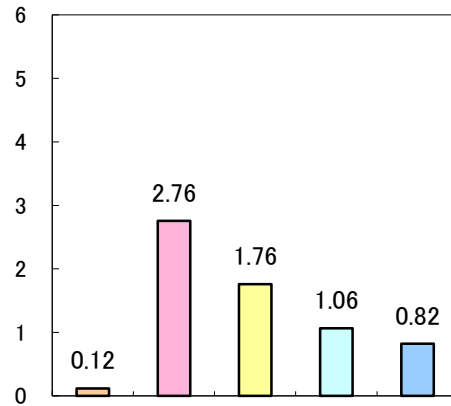
死亡事故 118件



負傷事故 16,997件



道路延長100km当たりの死亡事故発生件数

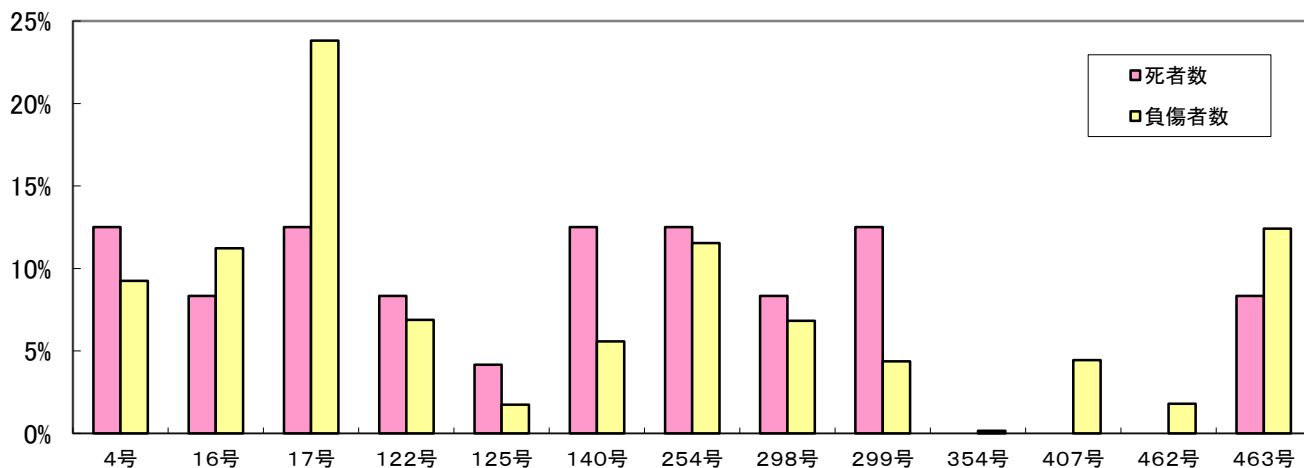


※「道路現況調査」令和2年4月1日現在

- 負傷事故の半数近くが市町村道で発生していますが、死亡事故は幹線道路での発生割合も高くなっています。
- 道路延長100km当たりの死亡事故発生件数で見ると、国道が高くなっています。

## ● 国道別交通事故発生件数

構成率

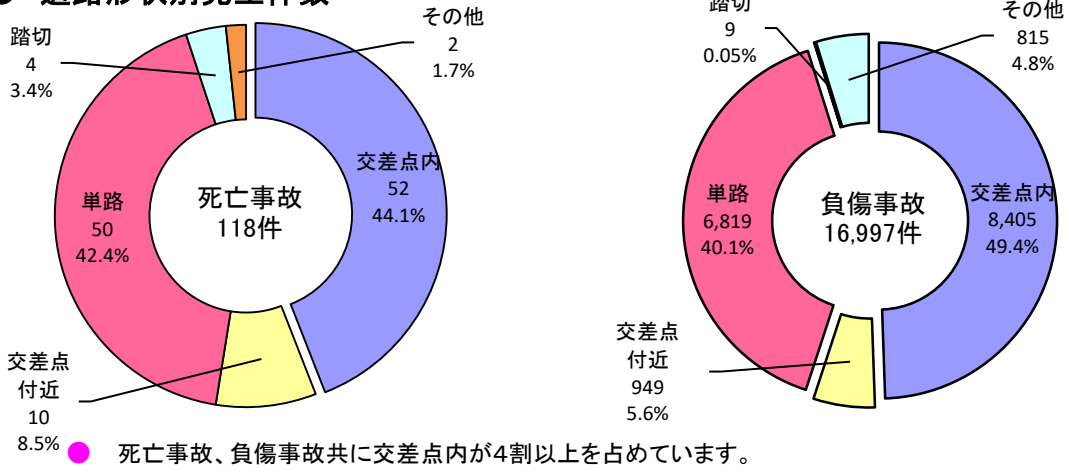


国道別	4号	16号	17号	122号	125号	140号	254号	298号	299号	354号	407号	462号	463号	計
件数	286	343	757	215	58	154	363	207	128	5	140	45	410	3,111
構成率	9.2%	11.0%	24.3%	6.9%	1.9%	5.0%	11.7%	6.7%	4.1%	0.2%	4.5%	1.4%	13.2%	100.0%
死者数	3	2	3	2	1	3	3	2	3				2	24
構成率	12.5%	8.3%	12.5%	8.3%	4.2%	12.5%	12.5%	8.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%
負傷者数	371	450	955	276	70	224	463	274	175	6	178	72	498	4,012
構成率	9.2%	11.2%	23.8%	6.9%	1.7%	5.6%	11.5%	6.8%	4.4%	0.1%	4.4%	1.8%	12.4%	100.0%

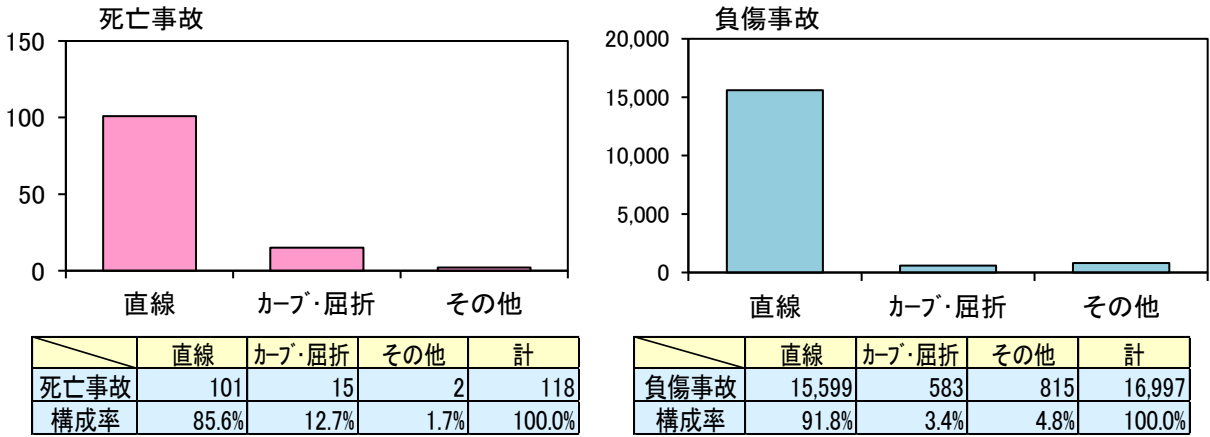
- 死者数は、国道4号、17号、140号、254号、299号、負傷者数は国道17号が最も多くなっています。

# 交通事故の道路形状別・道路線形別発生状況

## ● 道路形状別発生件数

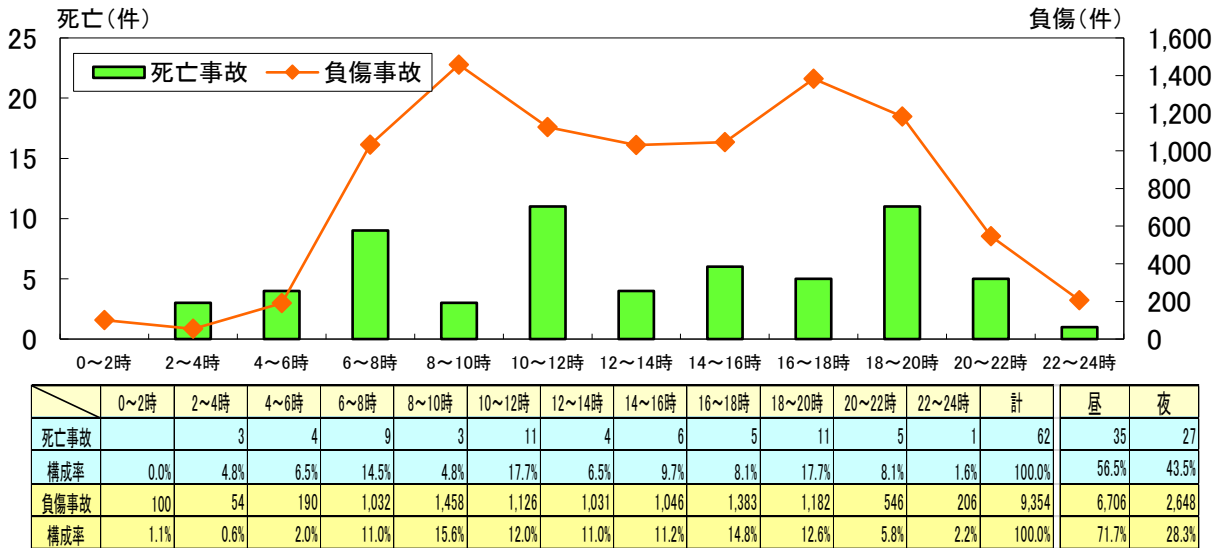


## ● 道路線形別発生件数



● 死亡事故、負傷事故共に直線道路での発生が約9割を占めています。

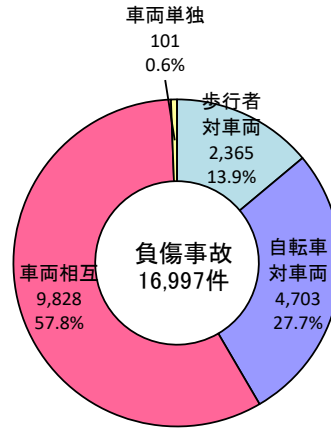
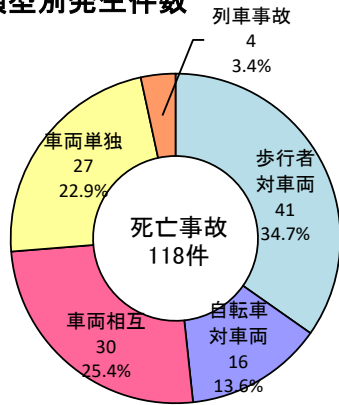
## ● 交差点(交差点付近を含む。)の時間帯別発生件数



● 死亡事故は10時~12時及び18~20時、負傷事故は8~10時の時間帯に多く発生しています。

# 交通事故の事故類型別発生状況

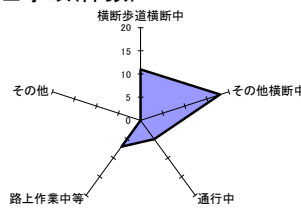
## ● 事故類型別発生件数



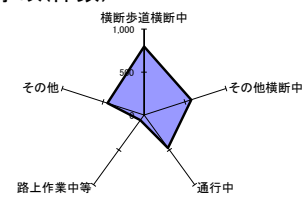
## ○ 歩行者対車両

		死亡事故	負傷事故
歩行者 対車両	横断歩道横断中	11	797
	その他横断中	18	576
	通行中	5	472
	路上作業中等	7	73
	その他		447
	合計	41	2,365
自転車 対車両	出会い頭	9	2,357
	右左折時	7	1,511
	その他	0	835
	合計	16	4,703
車両 相互	出会い頭	13	2,807
	正面衝突	5	199
	右折時	4	849
	追突	6	4,525
	左折時	0	201
	その他	2	1,247
合計	30	9,828	
車両 単独	対工作物	17	45
	対駐車車両	2	15
	路外逸脱	8	
	単独転倒		9
	その他		32
	合計	27	101
列車事故		4	0
合計		118	16,997

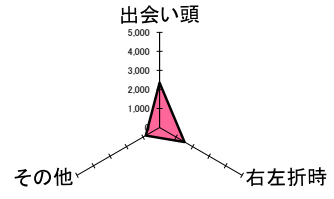
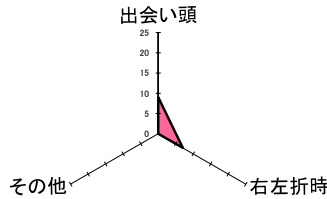
死亡事故(件数)



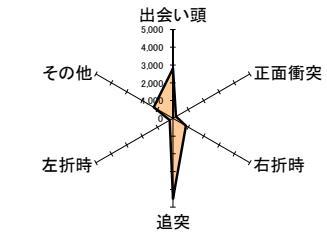
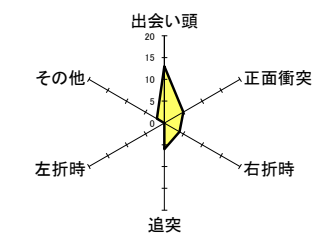
負傷事故(件数)



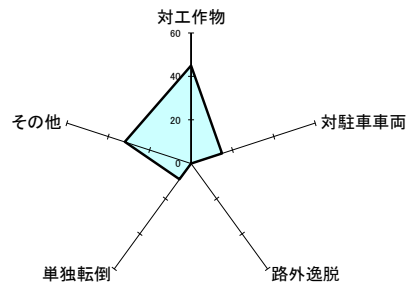
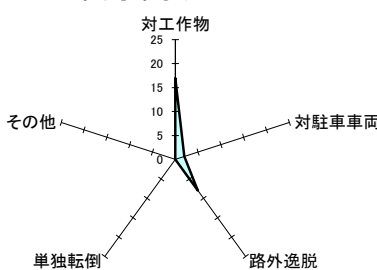
## ○ 自転車対車両



## ○ 車両相互



## ○ 車両単独



※自転車対車両には、自転車同士を含む。

- 事故類型別では、「歩行者対車両」は道路横断中、「自転車対車両」は出会い頭が多くなっています。また、「車両相互」は死亡事故では出会い頭、負傷事故では追突が多くなっています。

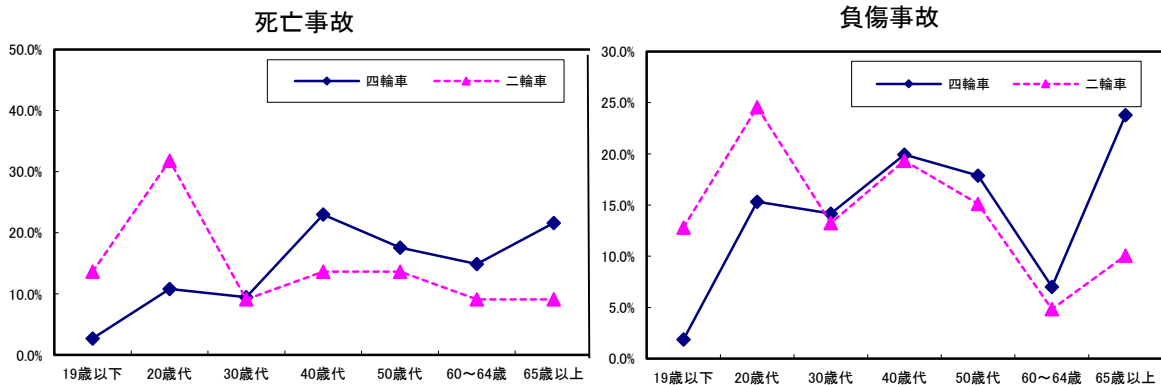
## 四輪車・二輪車による交通事故発生状況

### ● 四輪車・二輪車が起こした事故件数

死亡事故 96件			負傷事故 15,696件		
	死亡事故	構成率		負傷事故	構成率
大型乗用車		0.0%	大型乗用車	40件	0.3%
中型乗用車		0.0%	中型乗用車	14件	0.1%
準中型乗用車		0.0%	準中型乗用車	6件	0.0%
普通乗用車	25件	26.0%	普通乗用車	8,016件	51.1%
軽乗用車	15件	15.6%	軽乗用車	3,957件	25.2%
大型貨物車	10件	10.4%	大型貨物車	351件	2.2%
中型貨物車	2件	2.1%	中型貨物車	340件	2.2%
準中型貨物車	6件	6.3%	準中型貨物車	505件	3.2%
普通貨物車	6件	6.3%	普通貨物車	787件	5.0%
軽貨物車	9件	9.4%	軽貨物車	1,196件	7.6%
ミニカー		0.0%	ミニカー	3件	0.02%
特殊車	1件	1.0%	特殊車	5件	0.0%
自二車	17件	17.7%	自二車	218件	1.4%
原付一種	5件	5.2%	原付一種	258件	1.6%
合計	96件	100.0%	合計	15,696件	100.0%

● 死亡事故・負傷事故共に、普通乗用車が起こした事故が最も多くなっています。

### ● 四輪車・二輪車の年齢層別事故件数



		19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
死亡事故	四輪車	2	8	7	17	13	11	16	74
	構成率	2.7%	10.8%	9.5%	23.0%	17.6%	14.9%	21.6%	100.0%
	二輪車	3	7	2	3	3	2	2	22
	構成率	13.6%	31.8%	9.1%	13.6%	13.6%	9.1%	9.1%	100.0%
負傷事故	四輪車	284	2,334	2,157	3,032	2,724	1,069	3,620	15,220
	構成率	1.9%	15.3%	14.2%	19.9%	17.9%	7.0%	23.8%	100.0%
	二輪車	61	117	63	92	72	23	48	476
	構成率	12.8%	24.6%	13.2%	19.3%	15.1%	4.8%	10.1%	100.0%

● 四輪車の死亡事故は40歳代、負傷事故は65歳以上が最も多くなっています。

● 二輪車の死亡事故、負傷事故は共に20歳代が最も多くなっています。

### ● 四輪車・二輪車の事故原因別件数

	速度超過	酒酔運転	信号無視	歩行者妨害	交差点安全進行	一時不停止	ハドルブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	優先通行	その他	計
死亡事故	13	4	3	16	2	11	8	17	4	11	1	6	96
構成率	13.5%	4.2%	3.1%	16.7%	2.1%	11.5%	8.3%	17.7%	4.2%	11.5%	1.0%	6.3%	100.0%
負傷事故	5	19	579	381	485	829	781	3,425	1,532	6,660	280	720	15,696
構成率	0.03%	0.1%	3.7%	2.4%	3.1%	5.3%	5.0%	21.8%	9.8%	42.4%	1.8%	4.6%	100.0%

● 死亡事故は前方不注意、負傷事故は安全不確認で事故を起こす割合が高くなっています。

● 速度超過や酒酔運転は、死亡事故になる割合が高く、非常に危険です。



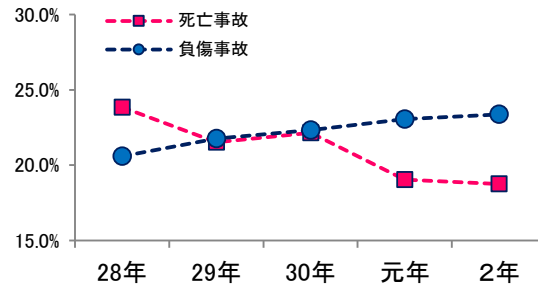
## 高齢運転者による交通事故発生状況

※高齢運転者による事故とは、四輪車・二輪車運転中の高齢者が主たる当事者となった事故を示します。

### ● 高齢運転者による事故の年別推移

	28年	29年	30年	元年	2年
死亡事故	31	34	33	20	18
構成率	23.8%	21.5%	22.1%	19.0%	18.8%
負傷事故	5,179	5,163	4,868	4,489	3,668
構成率	20.6%	21.8%	22.3%	23.1%	23.4%

(構成率)

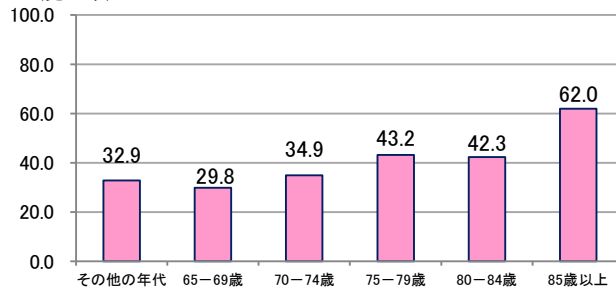


● 人身事故全体に占める高齢運転者の事故割合は28年から全体の約2割です。

### ● 免許人口1万人当たりの事故発生率

	発生率	件数
その他の年代	32.9	12,106
65—69歳	29.8	1,065
70—74歳	34.9	1,249
75—79歳	43.2	838
80—84歳	42.3	372
85歳以上	62.0	162
合計	33.5	15,792

(発生率)



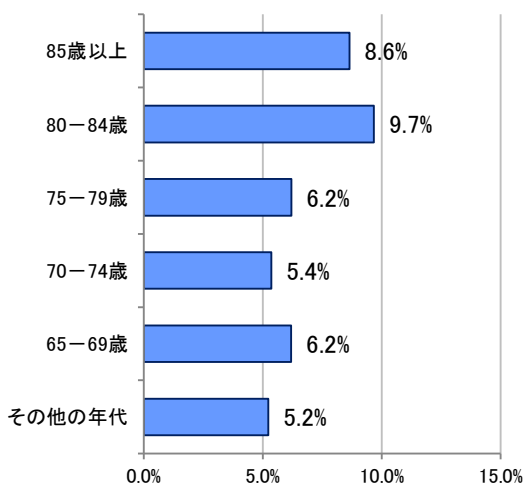
● 年齢が上がるにつれ、発生率が高くなっていることがわかります。

### ● 時間別事故件数

	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計	昼	夜
死亡事故	1	2		1	2	2	1	5	2	1		1	18	12	6
構成率	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%	27.8%	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	100.0%	66.7%	33.3%
負傷事故	17	16	52	234	564	650	569	546	576	311	99	34	3,668	2,955	713
構成率	0.5%	0.4%	1.4%	6.4%	15.4%	17.7%	15.5%	14.9%	15.7%	8.5%	2.7%	0.9%	100.0%	80.6%	19.4%

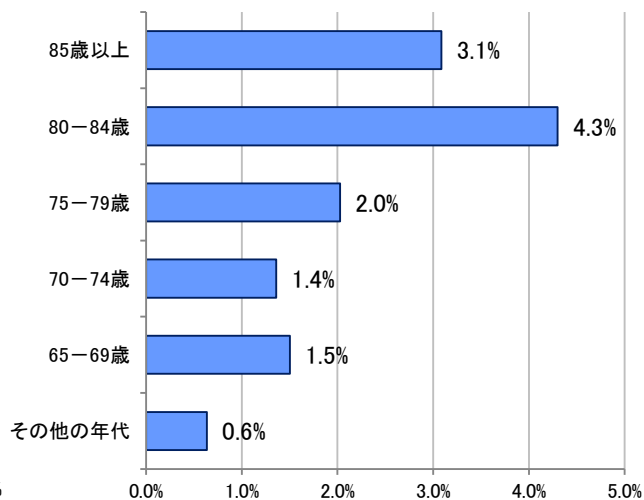
● 昼間に多くの事故が発生しており、10~12時、16~18時が最も多くなっています。

### ● 運転操作上の誤りによる事故



● 80歳—84歳の発生割合が最も高くなっています。

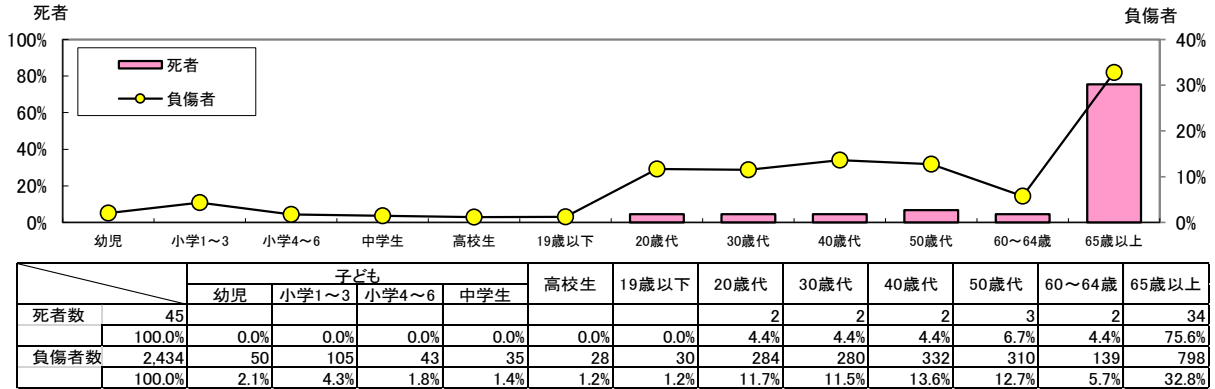
### ● アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故



● 80歳以上の発生割合が高くなっています。

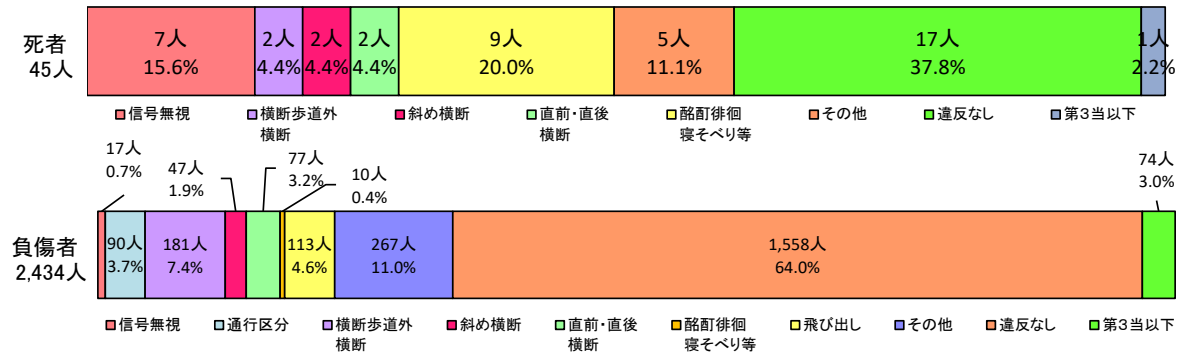
# 歩行者の交通事故

## ● 年齢層別死傷者数 (令和2年中の死者数45人)



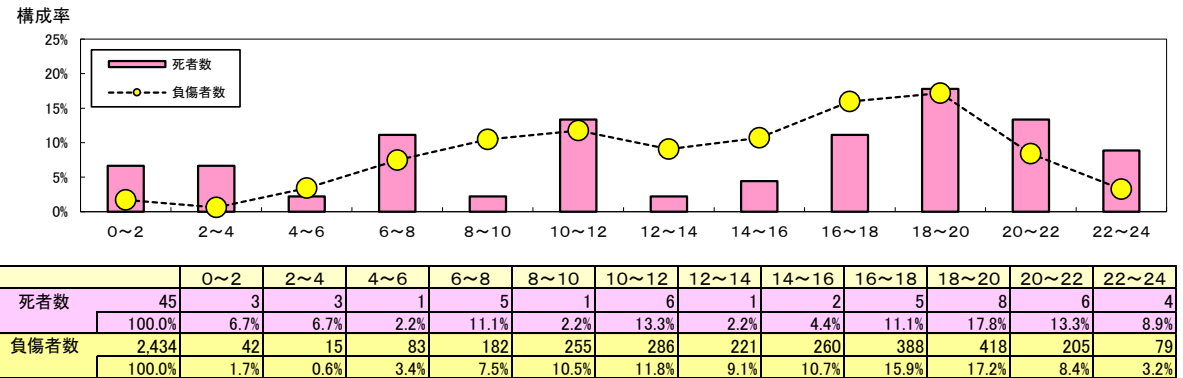
● 歩行中の死者・負傷者共に65歳以上の高齢者が多く事故に遭っています。

## ● 原因別死傷者数



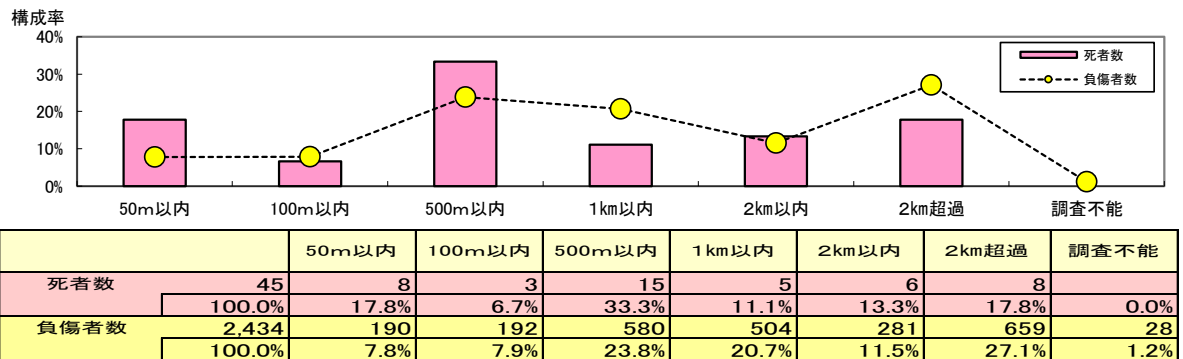
● 歩行中の事故では、死者の約6割、負傷者の約4割に何らかの原因(違反)があります。

## ● 時間別死傷者数



● 歩行中の死者・負傷者ともに18時~20時の薄暮から夜間時間帯にかけて多く事故に遭っています。

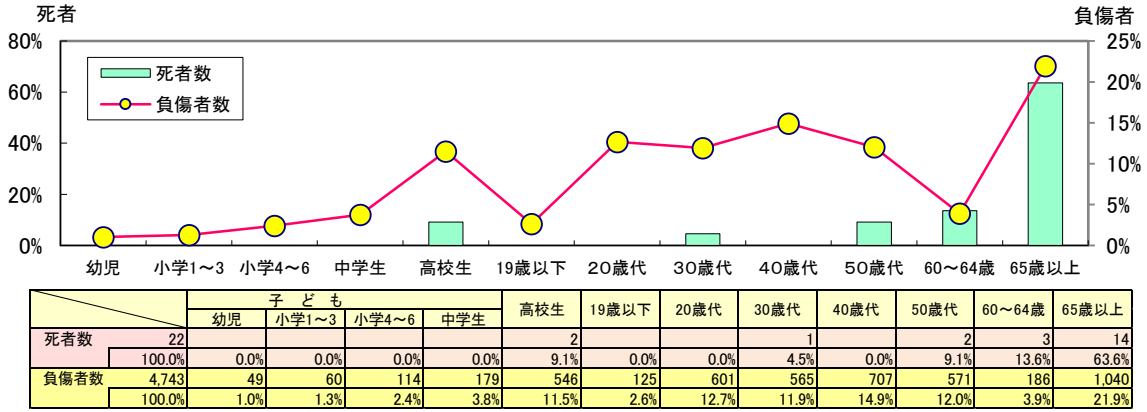
## ● 自宅から事故現場までの距離別死傷者数



● 歩行中の死者は自宅から500m以内、負傷者は2km超過の場所で多く事故に遭っています。

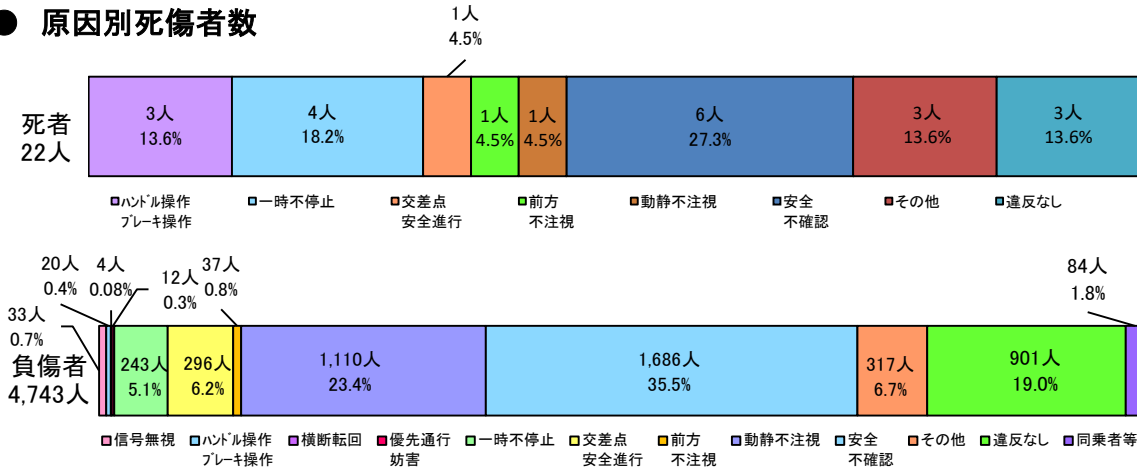
# 自転車の交通事故

## ● 年齢層別死傷者数（令和2年中の死者数22人）



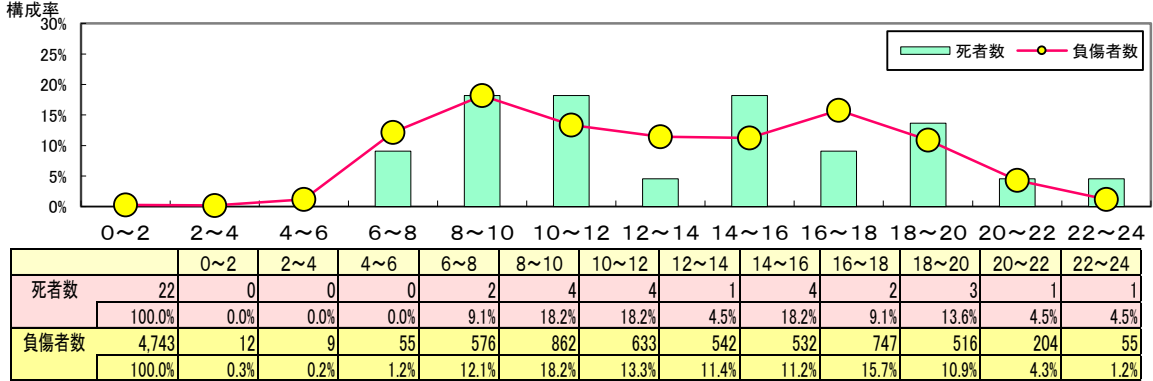
● 自転車乗用の死者は、65歳以上の高齢者が約6割を占めています。

## ● 原因別死傷者数



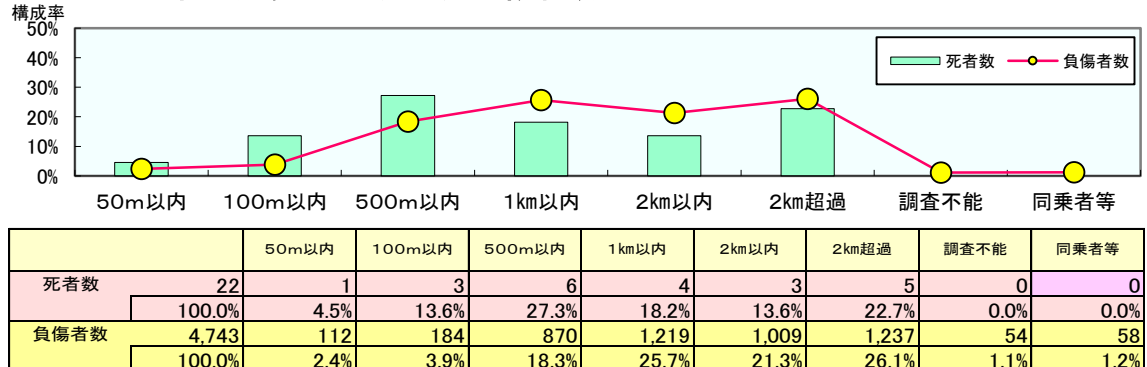
● 自転車乗用の事故では、死者、負傷者の約8割に何らかの原因(違反)があります。

## ● 時間別死傷者数



● 自転車乗用の死者は8~12時、14~16時、負傷者は8~10時の時間帯で多く事故に遭っています。

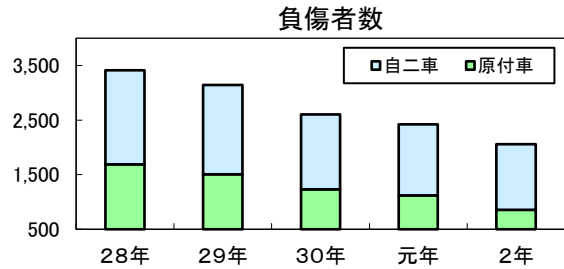
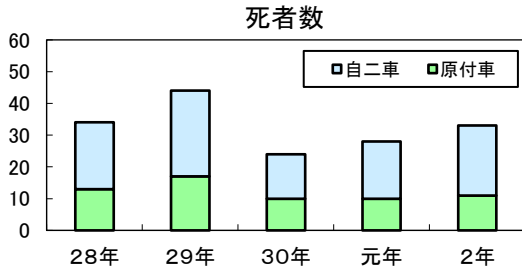
## ● 自宅から事故現場までの距離別死傷者数



● 自転車乗用の死者は自宅から500m以内、負傷者は2km超過の場所で多く事故に遭っています。

# 二輪車の交通事故

## ● 二輪車乗車中死傷者数の年別推移



	28年	29年	30年	元年	2年
自二車	21	27	14	18	22
原付車	13	17	10	10	11
計	34	44	24	28	33

	28年	29年	30年	元年	2年
自二車	1,725	1,633	1,371	1,301	1,198
原付車	1,687	1,510	1,231	1,118	859
計	3,412	3,143	2,602	2,419	2,057

- 自二車の死者は増加し、負傷者は減少しています。
- 二輪車、原付車の負傷者は年々減少しています。

## ● 二輪車乗車中死傷者の年齢層別・男女別発生状況

		15歳以下	16~19	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上	計
死者数	男性		4	8	5	4	6	1	3	31
	女性			1				1		2
計		0	4	9	5	4	6	2	3	33

		15歳以下	16~19	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上	計
負傷者数	男性		145	382	333	381	289	76	124	1,730
	女性		16	74	48	56	55	13	65	327
計		0	161	456	381	437	344	89	189	2,057

- 死者・負傷者共に男性が8割以上を占め、死者は20代が最も多くなっています。

## ● 時間別・昼夜別発生状況

時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計	昼	夜
死者数	1	2	3	6	2	1	2	2	3	4	2	5	33	15	18
構成率	3.0%	6.1%	9.1%	18.2%	6.1%	3.0%	6.1%	6.1%	9.1%	12.1%	6.1%	15.2%	100.0%	45.5%	54.5%
負傷者数	38	18	46	226	253	212	226	193	296	353	145	51	2,057	1,331	726
構成率	1.8%	0.9%	2.2%	11.0%	12.3%	10.3%	11.0%	9.4%	14.4%	17.2%	7.0%	2.5%	100.0%	64.7%	35.3%

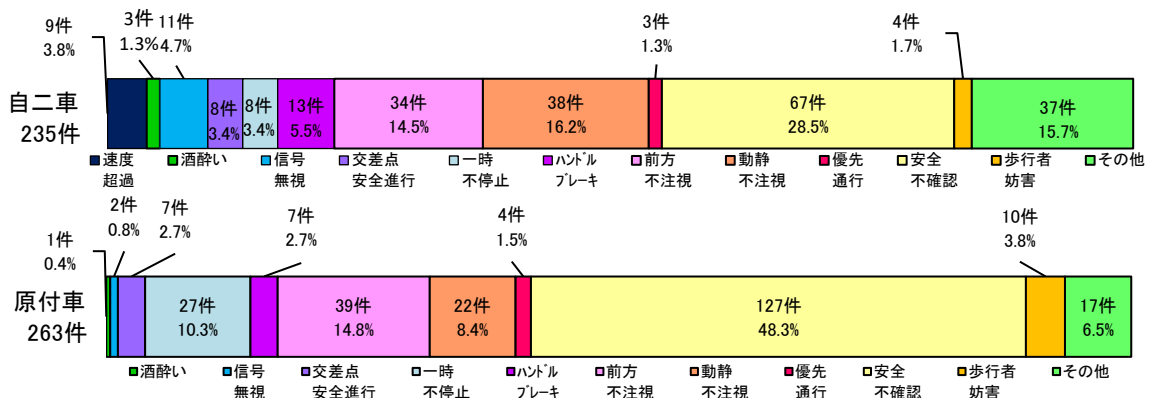
- 時間別では、死者は6時~8時の時間帯が最も多く、負傷者は朝夕の通勤・通学時間帯に多くなっています。

## ● 曜日別発生状況

曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	7	3	5	5	4	5	4	33
構成率	21.2%	9.1%	15.2%	15.2%	12.1%	15.2%	12.1%	100.0%
負傷者数	230	327	281	290	326	316	287	2,057
構成率	11.2%	15.9%	13.7%	14.1%	15.8%	15.4%	14.0%	100.0%

- 曜日別では、死者は日曜、負傷者は月曜が最も多くなっています。

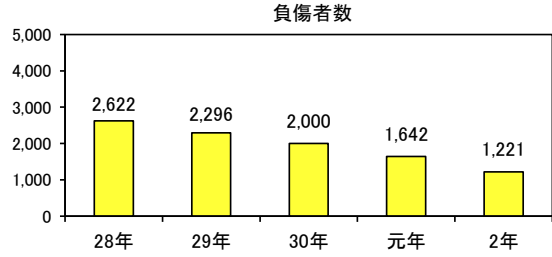
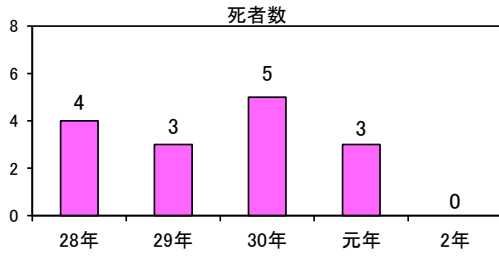
## ● 二輪車による事故原因別件数



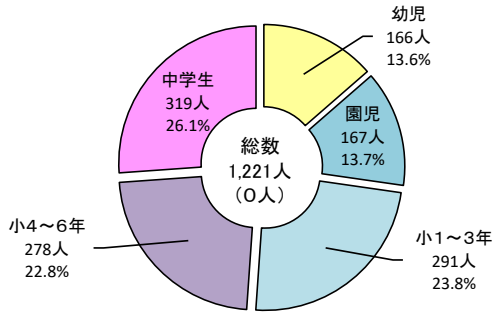
- 二輪車の事故原因は、自二車・原付車共に前方不注視や安全不確認など、運転者の不注意によるものが多くを占めていることが特徴としてあげられます。

# 子供(中学生以下)の交通事故

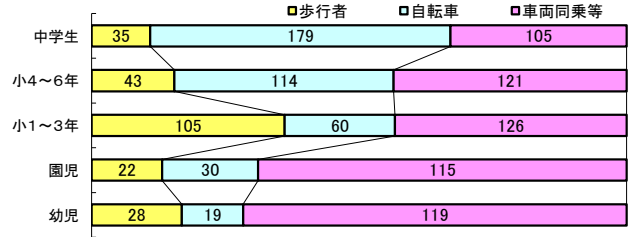
## ● 死傷者数の年別推移



## ● 学齢層別死傷者数 ( )内は死者で内数



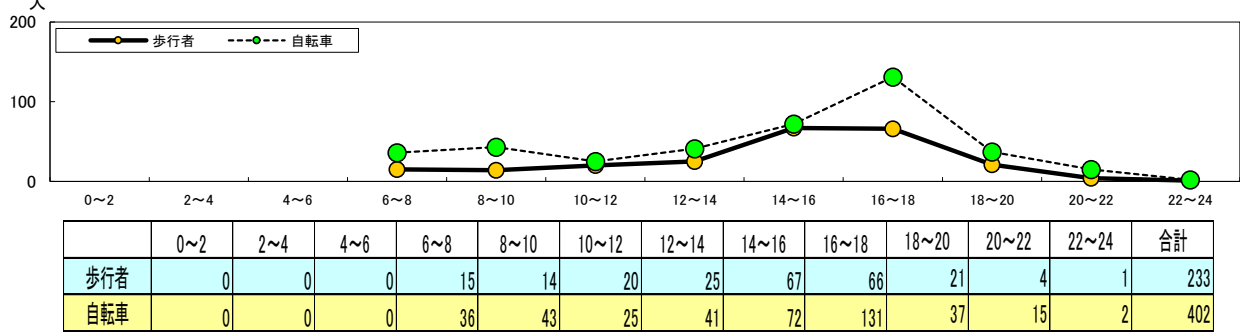
## ● 死傷者の状態別構成比



● 学齢が上がるに従い、自転車の割合が高くなっています。  
また、幼児・園児は車両同乗等の死傷者が多く、チャイルドシート等の必要性が認められます。

## ● 歩行者・自転車事故

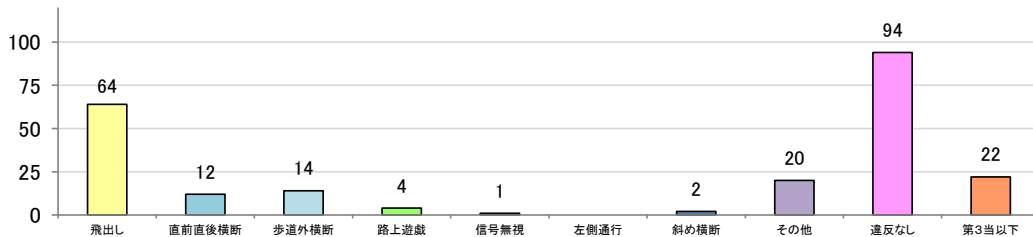
### ■ 時間別死傷者数



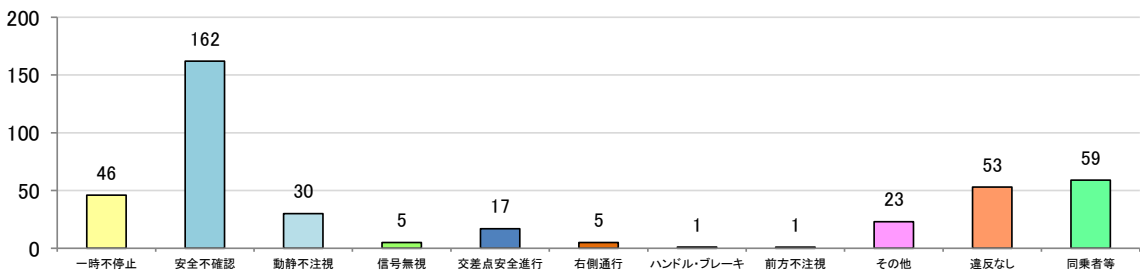
● 時間別では、歩行者は14時~16時、自転車は16時~18時の時間帯の死傷者が最も多くなっています。

### ■ 違反別死傷者数

#### ・歩行者



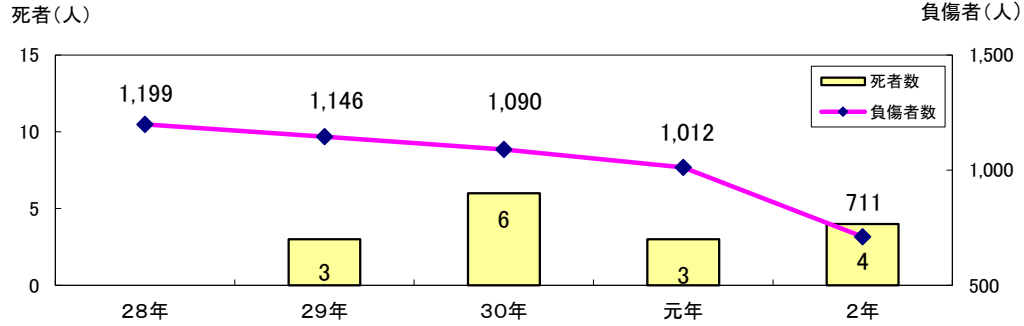
#### ・自転車



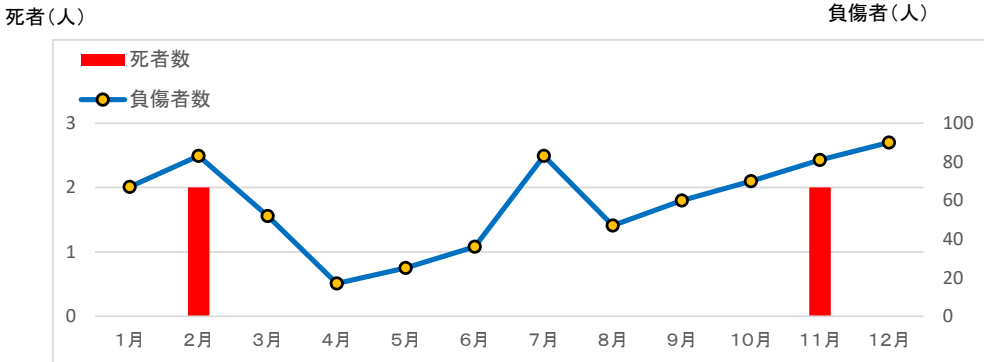
● 違反別では、歩行者は違反なし、自転車は安全不確認が最も多くなっています。

# 高校生の交通事故

## ● 死傷者数の年別推移



## ● 月別死傷者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
負傷者数	67	83	52	17	25	36	83	47	60	70	81	90	711

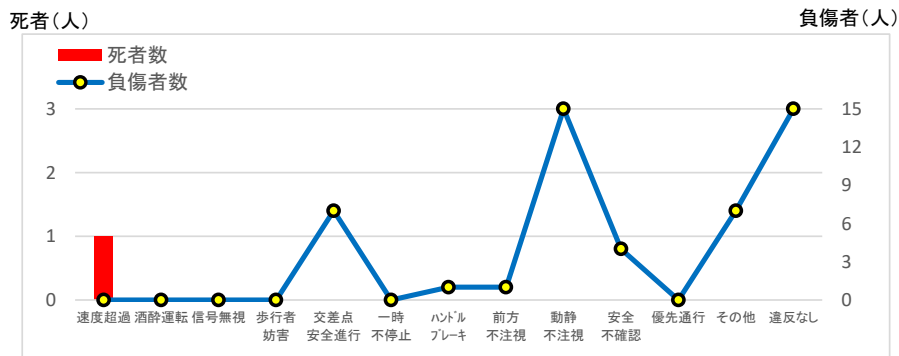
● 高校生の負傷者数は12月が多発傾向にあります。

## ● 状態別死傷者数

	歩行者	自転車	二輪車		四輪車		列車等	合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	0	2	1	1	0	0	0	4
構成率	---	---	---	---	---	---	---	---
負傷者数	28	546	44	1	6	86	0	711
構成率	3.9%	76.8%	6.2%	0.1%	0.8%	12.1%	0.0%	100.0%

● 自転車乗用中の負傷者が最も多くなっています。

## ● 二輪車・四輪車運転中の原因別死傷者数

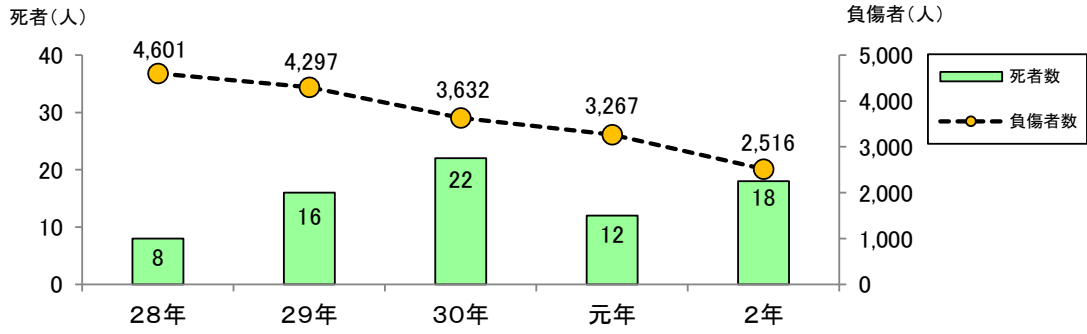


	速度超過	酒酔運転	信号無視	歩行者妨害	交差点安全進行	一時不停止	ハンドルブレーキ	前方不注視	動静不注視	安全不確認	優先通行	その他	違反なし	合計
死者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
負傷者数	0	0	0	0	7	0	1	1	15	4	0	7	15	50

● 原因別では、動静不注視が最も多くなっています。

## 若者(16歳～24歳)の交通事故

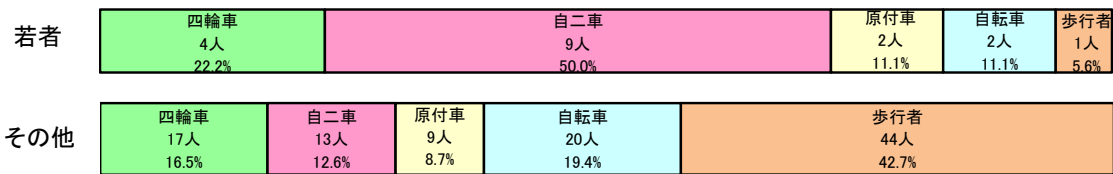
### ● 死傷者数の年別推移



	28年	29年	30年	元年	2年
死者数	8	16	22	12	18
負傷者数	4,601	4,297	3,632	3,267	2,516

● 負傷者数は減少傾向にあります。

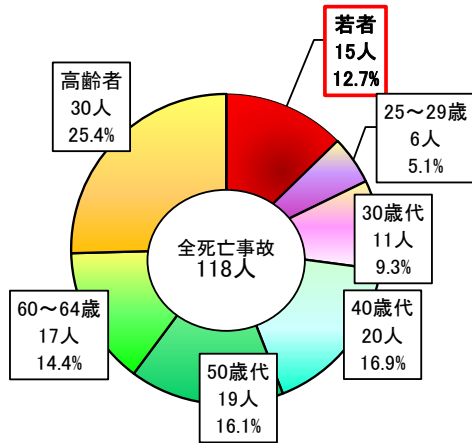
### ● 状態別死者数の構成比



● 若者の死者の約半数が原付以上であり、その他の年齢層に比べ特に自二車の割合が高くなっています

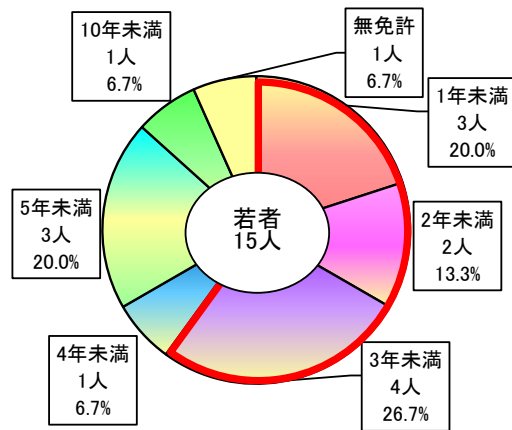
### ● 若者が主たる当事者となった死亡事故

#### ■ 主たる当事者の年齢層別構成比



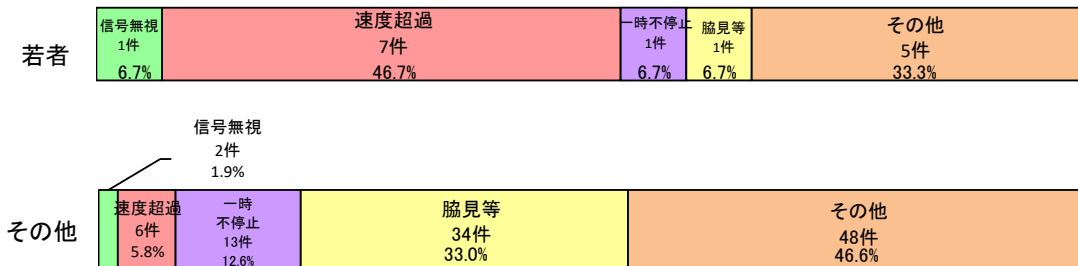
● 死亡事故の12.7%は、若者によるものです。

#### ■ 運転免許経験年数別



● 運転経験の浅い3年未満の人が、約6割を占めています。

#### ■ 原因別発生割合の対比



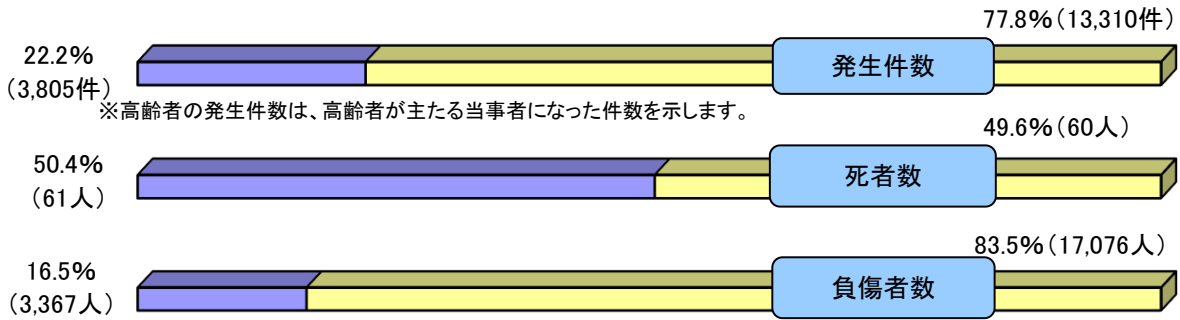
● 若者が起こす死亡事故の原因は、他の年齢層に比べ速度超過の割合が高くなっています。



## 高齢者(65歳以上)の交通事故

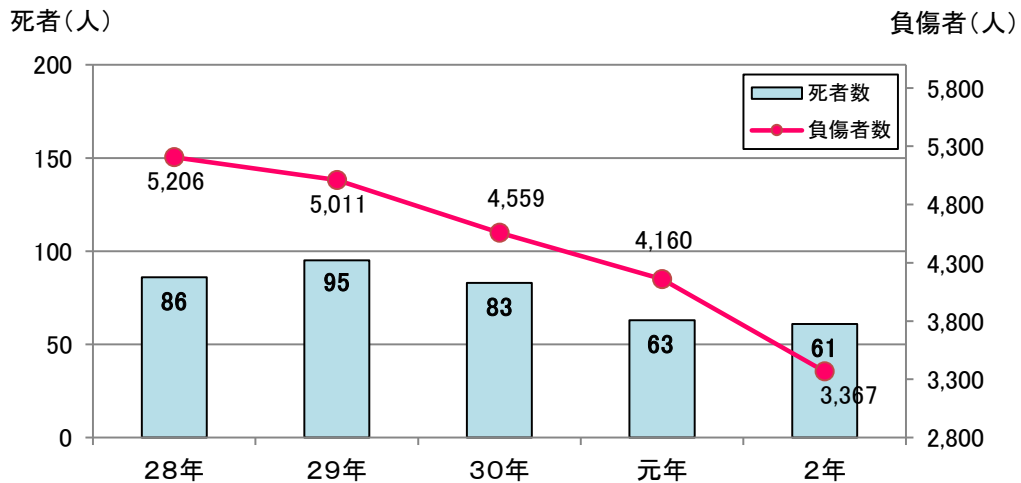
### ● 全事故に占める高齢者の割合

■ 高齢者の数値を示す



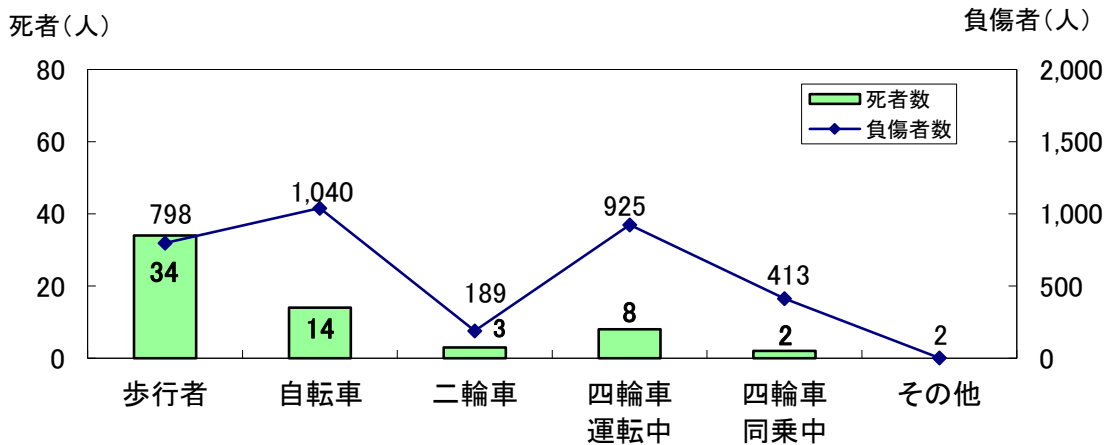
● 全事故に占める高齢者の割合は、負傷者数と比べ死者数が圧倒的に高く、全死者の約半数が高齢者となっています。

### ● 死傷者数の年別推移



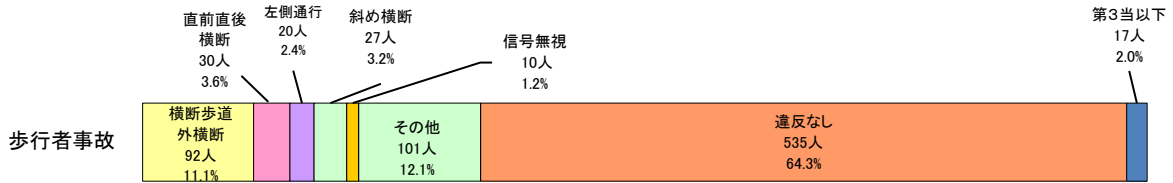
● 死者数、負傷者数は年々減少傾向にあります。

### ● 状態別死傷者数

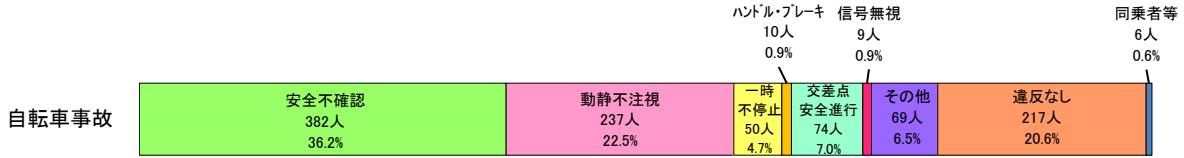


● 歩行者及び自転車の死者が7割以上を占めています。

## ● 原因別死傷者数

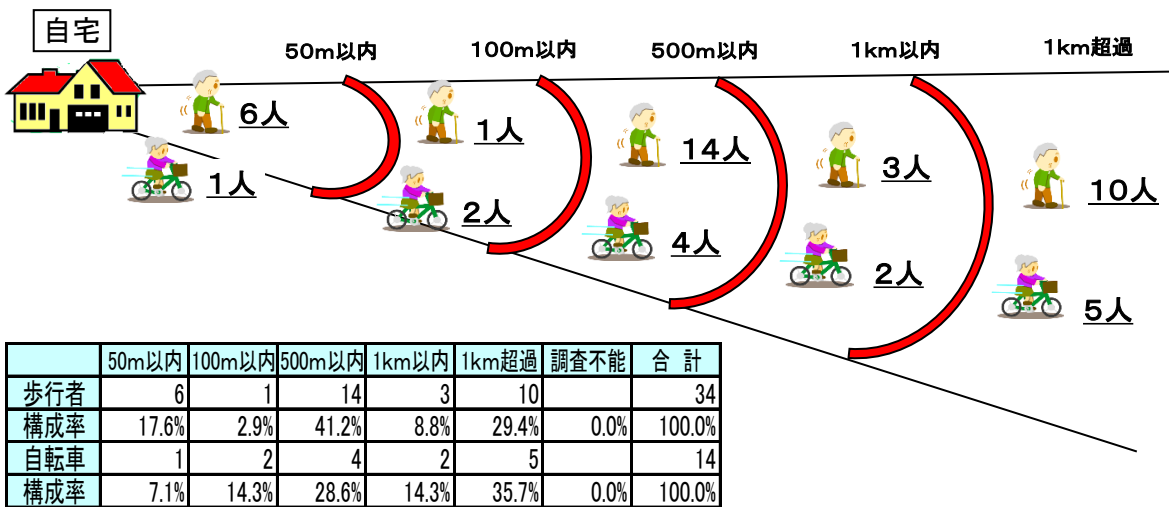


● 歩行中死傷者の約4割には何らかの原因(違反)があり、横断歩道外の横断が目立ちます。



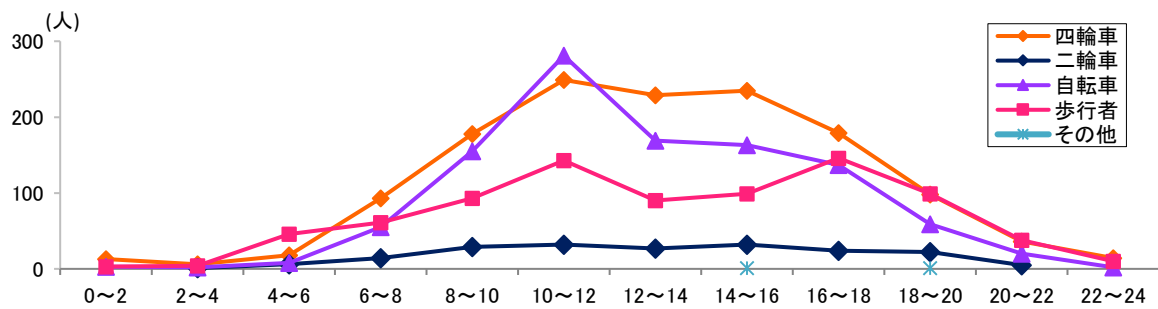
● 自転車乗車中の死傷者の7割以上には何らかの違反があり、安全確認や一時停止をせずに事故に遭うケースが多くなっています。

## ● 歩行中・自転車乗用中死者の自宅からの距離別



● 歩行者は自宅近辺、自転車は自宅から比較的遠い場所で事故に遭っています。

## ● 死傷者の時間別・状態別の発生状況

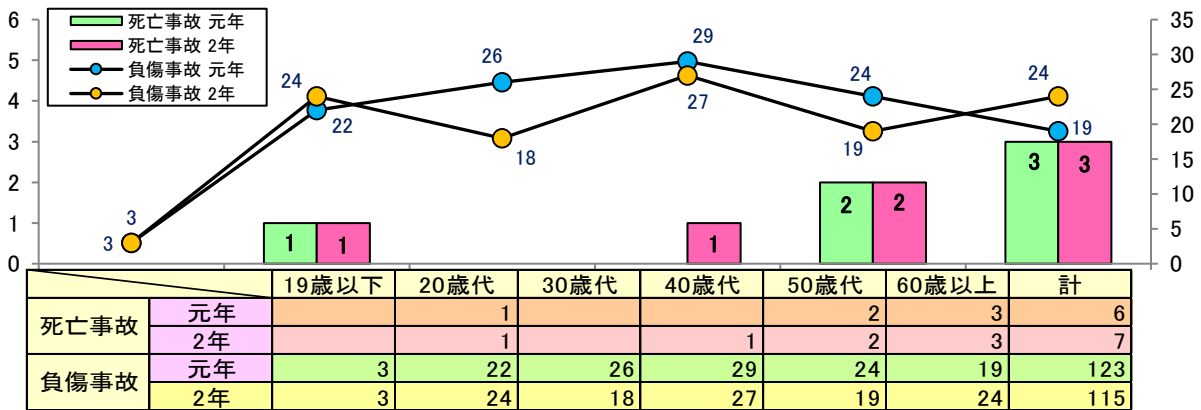


	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
四輪車	13	6	18	93	178	249	229	235	179	98	36	14	1,348
二輪車		1	6	14	29	32	27	32	24	22	5		192
自転車	3	2	8	55	155	281	169	163	137	59	20	2	1,054
歩行者	3	4	46	61	93	143	90	99	146	99	38	10	832
その他								1		1			2
総計	19	13	78	223	455	705	515	530	486	279	99	26	3,428

● 10~12時をピークに、日中の時間帯で多く事故に遭っています。

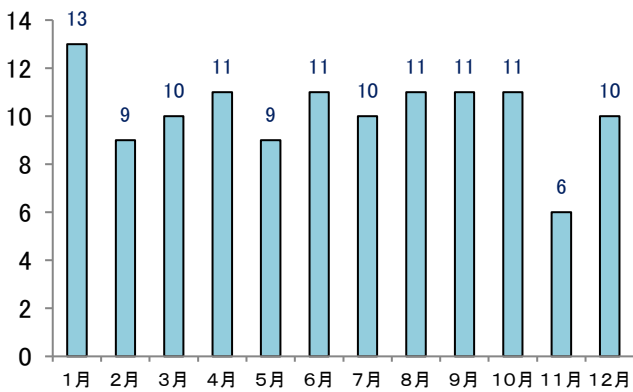
# 飲酒運転による交通事故(自転車を除く)

## ● 年齢別発生件数



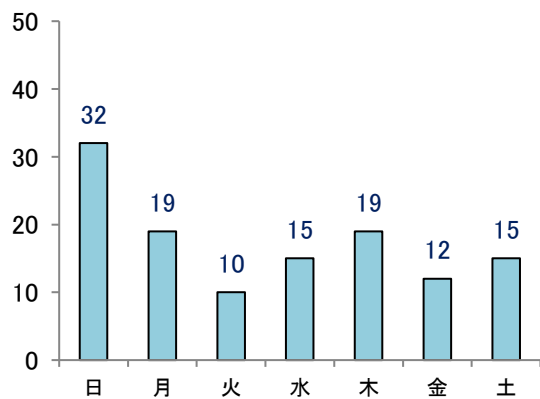
● 飲酒運転による事故は、20歳代から60歳以上まで幅広く発生しています。

## ● 月別発生件数



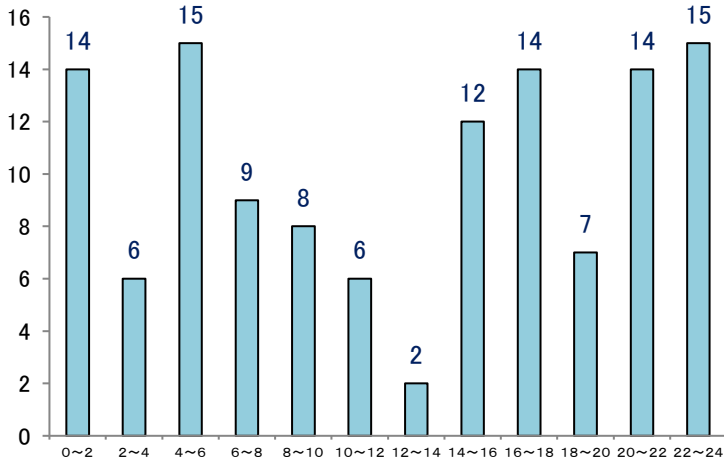
● 1月に最も多く発生しています。

## ● 曜日別発生件数



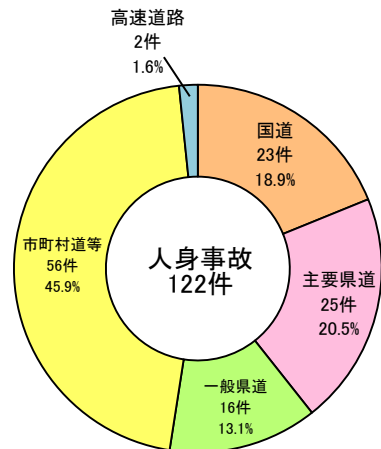
● 週末に多く発生しています。

## ● 時間別発生件数



● 4~6時、22時~24時までの時間帯に多く発生しています。

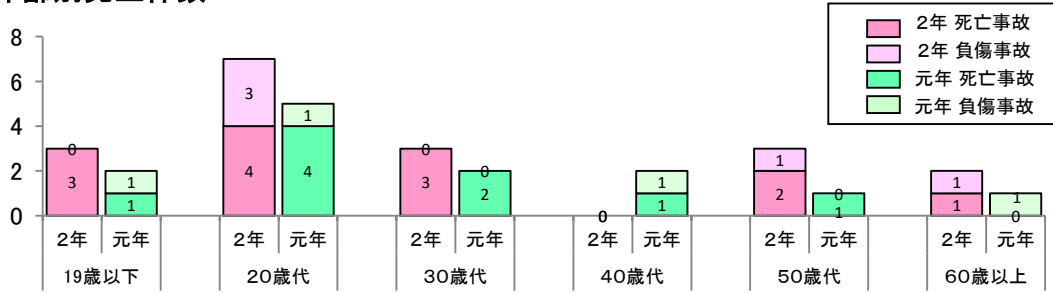
## ● 道路別発生件数



● 約半数が市町村道等で発生しています。

## 速度超過による交通事故

### ● 年齢別発生件数

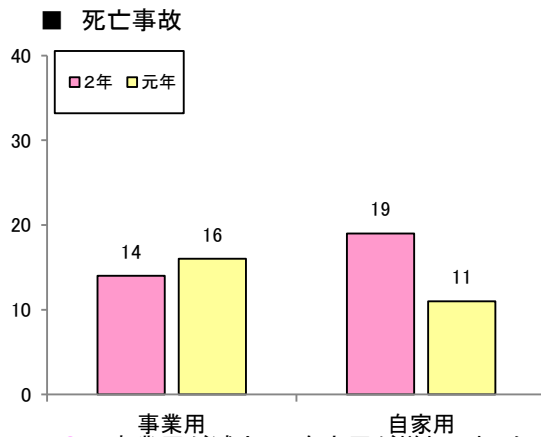


		19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
2年	死亡事故	3	4	3		2	1	13
	負傷事故		3			1	1	5
元年	死亡事故	1	4	2	1	1		9
	負傷事故	1	1		1		1	4

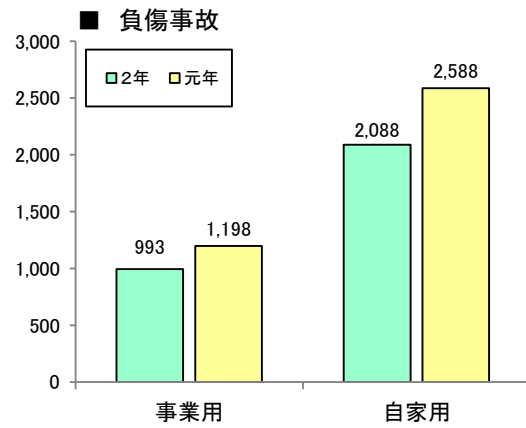
- 速度超過の事故の半数以上が死亡事故に至っており、非常に危険であることが分かります。
- 20歳代の事故が多くなっています。

## 貨物自動車による交通事故

### ● 発生件数

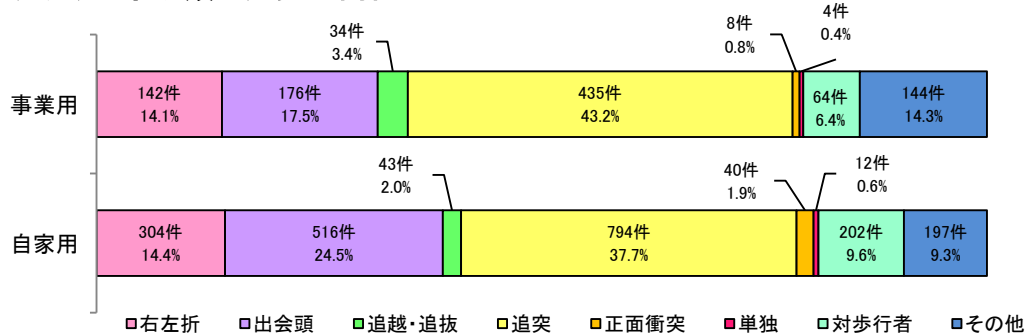


- 事業用が減少し、自家用が増加しました。



- 事業用・自家用共に減少しました。

### ● 用途別・事故類型別発生割合



- 事業用・自家用共に、追突事故が最多です。

## 携帯電話・カーナビゲーション装置使用中における交通事故

### ● 携帯電話使用中の交通事故発生状況

#### ■ 発生件数

年	項目	件数	構成率	全人身 事故件数
2年		52	0.3%	17,115
元年		83	0.4%	21,359

#### ■ 死傷者数

年	項目	死者数	負傷者数	合計
2年		0	77	77
元年		1	108	109

#### ■ 事故時の携帯電話の使用状況

年	通話目的	画像目的	ハンズ フリー	その他 の動作	計
2年	1	34	4	13	52
構成率	1.9%	65.4%	7.7%	25.0%	100.0%

- 画像目的(画面注視時)の事故が約6割を占めています。

#### ■ 事故類型別発生件数

年	出会い頭	追突	正面衝突	単独	対歩行者	その他	計
2年	6	39	2		3	2	52
構成率	11.5%	75.0%	3.8%	0.0%	5.8%	3.8%	100.0%

- 追突が7割以上を占めています。

### ● カーナビ使用時における交通事故発生状況

#### ■ 発生件数

年	項目	件数	構成率	全人身 事故件数
2年		98	0.6%	17,115
元年		209	1.0%	21,359

#### ■ 死傷者数

年	項目	死者数	負傷者数	合計
2年		1	152	153
元年		1	327	328

#### ■ 事故類型別発生件数

年	出会い頭	追突	正面衝突	単独	対歩行者	その他	計
2年	19	68	3	2	2	4	98
構成率	19.4%	69.4%	3.1%	2.0%	2.0%	4.1%	100.0%

- 追突事故が約7割で最多となっており、追突と出会い頭で約9割を占めます。

## シートベルト・チャイルドシートの着用状況

令和2年中、四輪車運転・同乗中に亡くなった人は21人で、このうちシートベルトを着用していた人は12人(57.1%)でした。

また、衝突部位や衝突の程度、損傷状況等を調査した結果、車両のシートベルトを着用していなかった8人の内、6人(75.0%)の人は、シートベルトを着用していれば命を失わなかった可能性があると考えられます。

### ● シートベルトの着用別死傷者数

		28年	29年	30年	元年	2年	
死者数	非着用	運転席	10	10	8	5	5
		構成率	32.3%	27.8%	32.0%	23.8%	23.8%
		助手席			2		2
		構成率	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	9.5%
		後部席	2	2	6	3	1
		構成率	6.5%	5.6%	24.0%	14.3%	4.8%
	その他						
	構成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	計	12	12	16	8	8	
	構成率	38.7%	33.3%	64.0%	38.1%	38.1%	
	防止可能	3	7	15	5	6	
	構成率	25.0%	58.3%	93.8%	62.5%	75.0%	
着用	着用	16	17	18	17	12	
	構成率	55.2%	54.8%	50.0%	68.0%	57.1%	
	着用不明	1	2	2		1	
構成率	3.2%	5.6%	8.0%	0.0%	4.8%		
四輪車死者計		29	31	36	25	21	
負傷者数	非着用	運転席	209	181	185	171	175
		構成率	1.2%	1.1%	1.3%	1.5%	1.6%
		助手席	70	49	39	37	33
		構成率	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
		後部席	753	772	581	490	368
		構成率	4.2%	4.7%	4.1%	4.4%	3.3%
	その他	15	18	17	12	4	
	構成率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	
	計	1,047	1,020	822	710	580	
	構成率	5.8%	6.2%	5.7%	6.3%	5.2%	
	着用	着用	18,358	16,968	15,544	13,580	10,569
		構成率	101.7%	103.4%	108.4%	121.3%	94.4%
着用不明		64	62	41	47	46	
構成率	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%		
四輪車負傷者計		19,469	18,050	16,407	14,337	11,195	

### ● 幼児(6歳未満)のチャイルドシート着用状況の推移

	28年	29年	30年	元年	2年
チャイルドシート	319	289	249	202	170
構成率	71.2%	78.5%	81.1%	75.1%	82.5%
シートベルト	72	40	34	40	21
構成率	16.1%	10.9%	11.1%	14.9%	10.2%
非着用	53	37	23	22	15
構成率	11.8%	10.1%	7.5%	8.2%	7.3%
着用不明	4	2	1	5	0
構成率	0.9%	0.5%	0.3%	1.9%	0.0%
四輪車乗車中	448	368	307	269	206

## 令和3年交通安全年間スローガン



- 運転者(同乗者を含む) 内閣総理大臣賞  
「ゆとりある 心と車間の ディスタンス」
- 歩行者・自転車利用者 内閣総理大臣賞  
「ママなんで? 赤は止まると 習ったよ」
- こども(中学生以下) 内閣総理大臣賞  
「自転車に 乗るならきみも 運転手」



命を守るヘルメット!  
自転車を運転するときは  
自転車用ヘルメットをかぶりましょう!



埼玉県マスコット  
「コバトン」



埼玉県マスコット  
「さいたまっち」



埼玉県警察マスコット  
「ポッポくん」



埼玉県警察マスコット  
「ポッポ美ちゃん」

- 道路交通情報・・・・・・・・・・・・・・・・050-3369-6611 (日本道路交通情報センター)
- 運転免許に関する問い合わせ・・・・・・・・048(541)1234 (埼玉県警察運転免許センター)
- 交通事故・運転経歴の証明・・・・・・・・048(541)2411 (自動車安全運転センター埼玉県事務所)